

令和 3 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人ふるさと

社会福祉法人ふるさと 令和3年度事業報告「法人本部」

1. 総 括

2020年初めから2年以上にわたるコロナ禍の中、感染対策と併行しながら介護の質の向上、業務効率化、人財育成の推進、組織構造の整備等、法人の体質強化に努めた。一方、社会的にはリモート・システムが急速に浸透したことにより、地域社会や業界内でも少しずつ動き出し、かえってコロナ前と比べると距離や場所に関係なく、多様な交流・学習の形が生まれはじめた年でもあった。

「退化とは、変化に対応しないことだ」という言葉があるように、特にこの一年は、変化の潮流を読み解き、その流れの先にある新たな時代における介護の姿を描きながら、迷うことなく未来に向かい力強く漕ぎ出した年となったと言える。

以下に事業を総括する。

【新型コロナウイルス感染症】

前年に続き、新型コロナウイルス感染症の勢いは衰えず、新たな波を迎えるたびにそれまでのピークを大きく上回り、その影響は永遠に続くかのように収束の気配さえ見えない。利用者のほとんどが基礎疾患を抱える高齢者施設にとって、その存在は変わらず最大の脅威であり、職員や職員家族への協力を得ながらの臨戦態勢が四六時中続くことで、職員には精神的にも肉体的にも負担をかけることとなった。

一方、ウイルスに対する知識や感染対策のスキルは、日に日に向上し、日々更新される政府や行政のルール変更にもスムーズに対応できるまでになった（この一年で事業継続計画（BCP）の更新は3回に及ぶ（通算7回更新））。こうした環境に、誠実かつ真剣な姿勢で対応する職員の働きにより、本年度は利用者に一人の感染者も出すことなく推移できたことは一つの成果といえよう。※ 新型コロナに係る職員の自宅待機、濃厚接触対応等特例休暇の総日数は、118日であった。

ただ、地域社会の感染症に対する警戒感もあり、施設・事業所運営においても一大行事である敬老会の縮小や地域との交流の停止など、対外的な接触を最低限にした自粛が今なお続いているが、社会において必要不可欠な社会事業の一つとして、今後もご利用者の暮らしと生命を守り、地域社会の福祉を支える使命を全うしていきたい。

【地域包括ケアシステムの進展】

西海市においても、遅ればせながら生活支援体制の整備が本格化する一年となった。当法人も高齢者福祉関係者として、当該事業に積極的に関与し、高齢者に限らず、障害、児童、困窮者をも包括的に支援する体制づくりの足掛かりにも主体的に関わることがで

きた。今後、社会福祉法人は、その資源、機能を活かし、文字通り地域の福祉拠点としての役割を果たさなければならないことは明白である。当法人としても、地域社会の福祉的中核として、さらに存在価値を高められるよう努めていきたい。

【令和3年度介護報酬改定への対応】

これまでの「お世話型介護」から、エビデンスとPDCAサイクルを活用した「科学的介護」へと大きく舵を切ったと言われる「科学的介護元年」の幕が開いた。

将来的には、医療情報データベースや保健に関する公的データベースとも統合・連携することが標榜される介護情報データベース（以下、「LIFE」（ライフ）という。）への登録と活用（加算取得）は、介護施設の二極化を招くとの指摘通り、1年目のLIFE関連加算取得率は全国の特養で約5割となった。介護事業所全体では、35%で、近いうち利用申請するという割合の20%を足してもようやく半分に届く程度だ。（参考：独立行政法人福祉医療機構 | 令和3年度介護報酬改定に関するアンケート結果）

登録しない、あるいはできない理由は、資金、人手、技術、理解不足、等様々であろうが、すでにこの時点で約半数が今後の介護事業制度についていかないという選択をしていることになる。つまり、介護事業者として、厚労省がLIFEによって達成しようとしている『集合知による介護の質の底上げ』に参加しない、という決断をしている事業者が約半数おり、それは、今後確実に介護業界全体の質に大きな影響となって現れることを想定しておく必要がある。

一方、利用者にとっては、加算の種類を見ただけで事業所選びができる格好の指標ができたということになる。従来からのお世話型介護を引き続き選択する事業者には失礼だが、これからの中高齢社会を支えるべくLIFEを取得し、科学的介護の道を歩み始めたもう一方側の事業者として、さらにその証であるアウトカム評価（介護度やADLの改善を指す）という裏付けをしっかりとつけていくことがその責務であることを自覚し、引き続き、さらなるLIFE関連加算の取得に努めたい。

このことに関連して、前年度より取り組んできた「重点的口腔ケアによる嚥下性肺炎ゼロプロジェクト」は、順調に推移している。歯科医師による口腔内評価（OHAT（オーハット））のレベルも開始時からすると、特養 [5.48→3.61]、グループホーム [5.48→2.44]、第2グループホーム [5.48→3.23]、サポートセンター [5.48→2.64]（※初回OHATは20年6月。初回スコア5.48は法人平均。スコアは5ポイントを上回ると要注意となる）と取組の成果が表れており、利用者の全身状態にいい影響を与えている。

また、水分、運動、栄養、排せつ、認知症という分野に対し、包括的にアプローチし、利用者の全身状態を改善するとされる「自立支援介護メソッド」は、本年度より専任講師による3年にわたるプログラムが開始された。全国5つの法人が参加するオンラインを利用した集団研修だが、理論を学ぶだけでなく、実践報告とその事例に対する検討会

を通して、他事業所の取組みを知り、意見交換しながら自施設のケアに活かすことができている。トレーニングを開始して10ヶ月程度であるが、運動機能や排せつ状態の明らかな改善も見られ始めている。今後も引き続き組織としてのスキルとなるよう定着を図っていきたい。

こうした取組みにもかかわらず、本年度の入院率は高位で推移した。多様な要因が輻輳しており一概にその原因を特定することができないが、コロナ禍による活動量や外部との交流機会の低下による心理的影響がないとも言えない。今後はさらに介護技能を磨き、基本的にケアの質を高めることで、様々な社会環境下であっても、心身の状態を安定させることに寄与できるよう取り組んでいきたい。

【組織マネジメントの再構築に向けて】

「組織マネジメント再構築プロジェクト」最終年にあたっては、これまで学び、構築してきた・共通のルールをベースに、組織目標の設定、目標達成のための標的行動を介した上司と部下のフィードバックミーティングの運用を本格的に開始した。

単に目標を掲げ、その到達方法については放任するという従来ありがちな目標管理ではなく、これまで学びの中で実践的に展開してきた組織と所属する職員の行動への動機づけの仕組みを丁寧に構築してきたことで、あるべき業務（役割）とその行動が明確になり、円滑な導入・運用に結び付いた。引き続き、その精度を高めることで目標に対する行動意欲につなげ、やりがいある職場としていきたい。

これらの行動原理を新たな理念体系として策定し、次年度からの事業活動の土台として定着させていきたい。（令和4年度事業計画を参照）

【業務効率化の取組み】

昨年度からシステムの構築を進めてきた（1）組織内の円滑な情報共有を進めるためのグループウェア（社会福祉法人用アプリ Garoon：ガルーン）と、（2）内部管理体制の基盤となる決裁プロセスの透明化のための決裁ソフト（Kintone：キントーン）、の本格運用を開始した。

支援業者から開始時に詳細な取り扱い説明を受けた上で導入し、運用開始してからは、現場での利用状況を確認しながら、不明点や課題を解決するための手順書作成やシステム改良を適宜行うことで現場の混乱もなく導入できた。

運用開始から1年が経過した年度末には、これまで整備されていなかった購買、行事、会議・研修会等についての稟議・決裁のプロセスが、取りこぼしなく申請される上、紙による回付なしで実施できるようになった。組織のルールとして最も重要な「誰が、何の責任と権限をもって、物事を相談、判断、決断するのか」という内部管理体制の骨格が出来上がったが、今後はさらに精緻化することで、規律ある組織構造を構築していきたい。

また、情報共有においては、法人内で事業所によって情報に量、質ともに差が見られていたが、本システム（Garoon）により、同一期に同一情報が共有できる仕組みができた。特にその導入効果が顕著だったのが、多事業所を横断して取り組む活動である。本年度は新型コロナワクチン接種がおこなわれたが、その実施には、ワクチンの調達や接種人数、接種回数等を関係者全員で共有しなければならない。本システムのおかげで、集まることなく Garoon 上で様々な情報を共有し、それぞれの役割や進捗状況を確認しながら、大きな問題なく円滑に実施できたことは、その一例である。

事務作業については、これまで月間延べ 40 時間かかっていた請求支払いに係る振込み業務について、アナログである請求書をデジタル化し、さらにその情報を振込みデータへ自動で変換するサービスを利用することで、24 時間（3 日間）の短縮に成功し、大きな業務の効率化につながった。（かかる費用は月額約 5 千円）

今後も事務部門においては引き続き業務効率化を研究する。また、介護の部門においてまだ活用しきれていない見守りセンサー等の活用方法などの検討や新たな ICT 機器の導入等も積極的に進め、さらに生産性の向上を目指したい。

【介護福祉人材の確保・定着】

人材確保については、厳しい情勢が続いている。本年の退職者は 11 名となった。一方、採用は、16 名であった。ここ数年は、派遣・紹介会社からを経由した採用が多く、費用負担も生じていたが、本年度は該当がなかった。ハローワークとの関係性も築きながら、ここ数年力を入れてきたブランディングの効果も少しづつ現れてきていると思われる。

また、定着率向上の一つとして取り組んでいる職員のメンタル・フォローは、引き続き日本産業カウンセラー協会に委託し、対象者を広げて個人カウンセリングを行うなどの充実を図った。カウンセラーからは以前から追跡フォローしている職員の状態が改善しているとの所見もある一方、一部の職域において高ストレス者が顕著であり、対策を要するとの意見が出され、提案に沿って対策の準備を進めている。

介護職員等への処遇改善については、昨年末、国会において急遽成立した介護職員処遇改善支援補助金を活用し、2 月より賃金の引き上げを実施した。なお、本補助金は、令和 4 年 10 月の介護報酬改定により加算に移行することで、引き続き今回実施した賃金引上げ水準を維持・継続できる見通しである。

○ 中期ビジョン（2019 年 1 月策定）の進捗状況

I. 組織体系の整備

- (1) 業務フローの整備
- (2) 組織機能レベルの事業所間格差の解消

- ・組織マネジメントの再構築プロジェクト終了（2022年度からはメンテナンス・コンサルを実施）
 - ・組織マネジメント理論（組織環境統制と無意識マネジメント）の学び
 - ・姿勢のルール、リアル組織図に基づいた役割定義の整理
 - ・行動のルールの策定と標的行動による人材育成

II. 人材の確保・育成・定着

- (1) 教育体系の整備
- (2) 職員のメンタルフォロー充実
- (3) 介護教室の活用

- ・組織マネジメント再構築コンサルティング中間管理職層への展開
- ・日本産業カウンセラー協会による職員メンタルフォロー研修の実施
- ・コロナ禍における地域への情報提供と福祉教育あり方検討

III. 業務効率化の推進

- (1) 介護ロボットの導入検討
- (2) ICTによる事務効率の改善

- ・コロナ禍におけるオンライン面会・会議・研修等の利活用推進
- ・見守り支援ロボットの活用検討
- ・ICTによる事務効率化（決裁、情報共有等）の運用

IV. 地域における福祉拠点

- (1) 災害対応力を高めた地域拠点
- (2) 生活困窮者などの福祉ニーズへの対応強化
- (3) 福祉教育による人材育成

- ・西海市と福祉団体との福祉避難所協定への主体的参画
- ・市内社会資源と連携したレスキュー事業の実施
- ・コロナ禍における地域への情報提供と福祉教育あり方検討（再掲）

V. 新たな医療・福祉ニーズへの対応

- (1) 医療連携の強化
- (2) 総合事業の検討
- (3) 配食サービスの検討

- ・「自立支援介護・科学的介護」の実践研修開始
- ・歯科医師の指導による口腔ケアプロジェクトの継続
- ・殺菌装置、感染対策備品の整備等感染対応力の強化

VI. 現場の問題解決の推進

(1) 業務改善活動の継続と定着

- ・ 各職域による QC サークル活動の継続

○ 施設・事業所の運営状況（概要）

(1) 特別養護老人ホームふるさと

延べ満床数 25,550 人に対し、入所者数 25,003 人（契約率 97.9%／前年比 98.2%）

延べ入院者数及び外泊者数 1,342 人（1 日平均 3.7 人）で前年（950 人）と比べると入院者は増加した。（稼働率前年対比 98.2%）

また、退所者も前年（19 人）の 1.6 倍と例年になく高位に推移した。

— 入退所状況：入所／28 人、退所／31 人（うち施設内看取り 16 人）

平均介護度 3.7（前年 4.0）

(2) 短期入所生活介護（ショートステイふるさと）

延べ利用枠 3,650 人に対し、利用者数は 3,267 人となり、前年に引き続き稼働率は上昇した（稼働率 89.5%／前年比 105.9%）。

— 平均介護度 2.5（前年 2.4）

(3) 居宅介護支援センターふるさと

居宅介護支援延べ利用者数 546 人（前年比 146.8%）、予防介護支援延べ利用者数 103 人（前年比 119.5%）と一昨年増員した職員による獲得数に相当して。また、地域公益的取組み「ふるさとレスキュー事業」や地域における介護予防の啓発活動に努めた。

(4) グループホームふるさと

延べ満床数 6,570 人に対し、利用者数 6,558 人（契約率 99.8%／前年比 100.6%）

延べ入院者数及び外泊者数 60 人で前年（125 人）と比べ入院者が半数以下に減少した。

— 入退所状況：入所／5 人、退所／5 人

平均介護度 1.8（前年 1.8）

(5) 第 2 グループホームふるさと

延べ満床数 6,570 人に対し、利用者数 6,509 人（契約率 99.1%）

延べ入院者数及び外泊者数は 310 人と前年（268 人）から増加傾向が続いている。

— 入退所状況：入所／7 人、退所／8 人

平均介護度 1.9（前年 2.3）

(6) ふるさとシニアライフサポートセンター（小規模多機能ホームふるさと・サービス付きシニアマンションふるさと）

小多機登録定員 19 人/月に対し、登録者数/月平均 16 人（契約率 89.5%）、マンション延べ入居者数 190.8 人（平均 15.9 室/19 室：稼働率 83.7%）であった。小多機が前年比 89.5%、マンションが前年比 89.9% といずれも前年を下回ったが、介護度の進展で収支的には改善している。

(7) ふるさとレスキュー事業

第二種社会福祉事業「生計困難者に対する相談支援事業」

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施。県経営協の西海地区担当幹事法人を地区内の別法人へ移管引継ぎを行った。コミュニティ・ソーシャル・ワーカー設置法人としては、昨年度より対応していたケースが 1 件あった。

○重点分野取り組み状況と課題

	R3 年度；目標と目標達成計画	R3 年度；取り組み状況
自立支援介護と利用者満足度の向上	<p>《方針》 科学的介護データベース「LIFE」への完全対応 《実施計画》 ① 科学的介護推進加算取得のためのスキルアップ支援 ② 「LIFE」対応の自立支援介護コンサルティングの委託 ③ 口腔ケアゼロプロジェクトの推進 ④ 利用者アンケートの標準化と評価システムの構築</p>	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 全事業所 LIFE 登録及び科学的介護推進体制加算取得する 自立支援介護コンサルティング受講 口腔ケアゼロプロジェクトの継続実施し、歯科医師、歯科衛生師のもと口腔ケア実践の標準化進めた 長崎県の補助事業を活用し、見守りセンター（眠りスキャン）を導入した
権利擁護・虐待防止の推進	<p>《方針》 高齢者虐待防止法及びハラスメント防止法の遵守と権利擁護意識の向上 《実施計画》 ① 苦情解決委員会の開催 ② ハラスメント防止のための職員研修実施</p>	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であったが、動画研修により必要な講座を受講できた 法人苦情解決第三者委員会を開催し、関係機関に対し情報開示を行い助言をもらった

感染症対策	<p>《方針》 感染症BCPに沿った業務運営の確立 《実施計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 感染症BCPの適時適切な改訂 ③ BCPに沿った訓練とモニタリング ④ コロナ感染症についての適時適切な情報共有 ⑤ コロナ感染症対応における有用な研修実施 ⑥ 介護サポーターの確保による環境美化の維持 ⑦ 市内協力関係のある4法人との連携 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染対策の指揮 ・国の基本的対処方針の改定及び情勢変化に伴う感染症BCPの改訂 ・市内感染症協力体制の拡充（新たにかめだけホーム参加） ・コロナワクチンの3回目接種完了
地域と連携した災害対策体制	<p>《方針》 地域と連携した災害対策体制の構築 《実施計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域協力連携会議の開催 ② 西海市福祉施設連絡協議会と西海市による災害協力協定に沿った訓練等参加 ③ 運営基準改定に準じた地域との連携体制構築の支援 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人防災対策会議の開催 ・全職員緊急連絡一斉メールの導入 ・2年ぶりに法人地域連携協力会議を集合で開催（市長参加） ・西海市福祉課及び防犯対策室との連携会議に参加
人材育成・確保	<p>《方針1》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人材の確保・育成・定着を図り組織体制を強化する。職員が目指す職員像を明確にして、専門的能力の増進のための教育環境を整備する ② 高い専門性に特化した介護を目指し、質の向上、生産性の向上を図る <p>《方針2》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①離職率を3%に抑え、法人のブランディングを目指し採用者を増やす ③ 人材を確保し安定した運営を目指す 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年にわたる組織マネジメントコンサルにより、運用の型が完成した。 ・サイボウズアプリを導入し、稟議決裁プロセスを整備した。 ・昨年度より会計事務について一部外注化を試み、事務処理の効率かも併せ運用方法が確立した。 ・法人動画発信を始めとする施設内外のオンライン研修を主体に研修を実施。並行して全職員対象に、職種別、階級別の個別のeラーニングを導入し統括管理し、各事業所研修計画に沿って法定研修を含めた研修を100%実施できた。

人材育成・確保	<p>《実施計画 1》</p> <p>① 法人動画発信を始めとするオンライン研修を主体に、全職員対象に、職種別、階級別の個別の E ラーニングを導入し統括管理する 法定研修及び事業所ごとの指針に則り、関連研修・事例検討・演習等の計画を法人教育・研修体系として確立する</p> <p>② 姿勢のルールの定着化、行動のルール、標的行動フィードバック面接を推進し、業務の標準化と生産性向上させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月、組織活性化コンサルティングでの幹部・管理者研修を実施し、マネジメント力を育成する 業務効率化・人員配置の最小化・コスト削減に向けての QC 活動を継続実践する。 様々な資格取得について、研修参加や費用等を支援し、職員のやりがいや自己実現につなげる 介護福祉士・1名 介護支援専門員 2名 介護職初任者・実務者研修 2名 認知症実践者研修・管理者研修・1名 ユニットリーダー研修 3名 喀痰吸引実地研修・4名 アセッサー一段位研修 1名 <p>《実施計画 2》</p> <p>①求人チラシを作成し、全職員、ふるさとだよりで地域・関係者、家族へ広告し、中途採用者 9 名を採用する ・HP・SNS 等による求人活動を行うために、コンテンツを検討する</p>	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢のルールの定着化、成長のルール、標的行動、フィードバック面接を推進し人事考課と連動できるようなくみづくりが図れたが、職域ごとのばらつきがあった。 毎月、組織活性化コンサルティングでの幹部・管理者研修を実施し、マネジメント力を育成した。 QC 活動は継続して行ったが、常勤介護職の不足により、介護職の超過勤務削減には至らなかった。 様々な資格取得について、研修参加や費用等を支援した。 介護福祉士 0名 介護支援専門員 1名 介護職初任者・実務者研修 2名 ユニットリーダー研修 3名 喀痰吸引実地研修・3名 アセッサー一段位研修 1名・ストレスチェックフォロー対策として、地域密着型職員の個別カウンセリング 10 人実施し、職場環境の改善を行った。 求人チラシを作成し、コロナ禍においてミニ面談会等に参加した。 今年は常勤を 15 名 非常勤 3 名の計中途採用者 18 名（うちバイト 2 名）を採用。 職員紹介 2 名 学校紹介 1 名 ハローワーク紹介 14 名 紹介業者 1 名（紹介料 50000 円） 60 歳以上の特定求職者雇用助成金給付 2 名（450,000 円） 離職率 9.1% 退職 常勤 8 名・非常勤 6 名（内バイト 3 名） 合計 14 名

人材育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・高校2名・短・大学生 新卒採用に向けてYouTube作成、オンライン面接、学校訪問、合同面談会等に積極的に参加する。 ②年休取得40%を目指す <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善により超過勤務を5時間削減する ・管理者や主任・衛生管理者による個別面談等での早期の勤務状況や心身両面での悩みや問題等を把握し、相談体制を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのリニューアル及びSNS等による求人活動を行うために、活用研修を実施、インスタグラムを開設した。 <p>休暇等</p> <p>有給休暇取得率 36.8% (前年度 38.2%)</p> <p>一人 10.7 日取得</p> <p>産休・育休 100%取得 4名 (復職 2名)</p> <p>介護休業 2名 106日取得</p> <p>病休 8名 内3名復職</p>
地域との交流・貢献	<p>《方針》</p> <p>社会福祉法人による地域における公益的取組みを継続実施する</p> <p>《実施計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生計困難者レスキュー事業の推進 ② 災害時福祉避難所としての要配慮者の受け入れ準備（連携訓練等） ③ 教育機関と連携した福祉教育の実施 	<p>《取り組み状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営協レスキュー事業に参加し西海地区の生計困難者支援を行政及び社協等と連携して行った ・西海市と施設協との福祉避難所の居力体制について協議を進めた <p>※多くの地域活動はコロナの影響でほとんど実施・参加できなかった</p>
施設管理	<p>《方針》</p> <p>適切な資産管理と有効活用及び長寿命化に向けた保守点検の実施</p> <p>《実施計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保守点検実施体制の構築 ② 長寿命化計画の策定検討 ③ 施設照明のLED化等施設維持コストの削減検討 ④ 2GH及びサポセン公用車入れ替え 	<p>《取り組み状況》</p> <p>□法人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検整備体制の整備（人員及び点検マニュアルの作成に取りかかる） <p>□特養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個室エアコン、共用エアコンの故障続出し隨時、修理・入替対応した <p>□2GH</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車入れ替え実施 <p>□サポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車入れ替え実施

2. 会務報告

(1) 理事会

回	日 時	出 席 者	議 題	場 所
1	令和3年 6月 12日 ※決議の省略	理事：6名 監事：2名	(提案事項) ① 令和2年度事業報告の承認について ② 令和2年度決算報告の承認について ③ 定時評議員会に提出する次期役員候補の選定について ④ 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者の選定について ⑤ 定時評議員会の招集について ⑥ 定款細則及び稟議及び事務決裁規程の改定について ⑦ 公用車リースの新車更新について	—
2	令和3年 6月 28日 ※一部オンライン会議	理事：6名 監事：1名	(決議事項) ① 理事長選定について ② 処遇改善加算等に基づく給与処遇改善要領の制定について (報告事項) ① 令和3年度定時評議員会の報告について ② 理事長の職務執行状況について	特別養護老人ホームふるさと
3	令和3年 12月 6日	理事：6名 監事：2名	(決議事項) ① 令和3年度第1次補正予算(案)の承認について ② 在宅勤務規程の制定について ③ 評議員選任・解任委員会の運営に関する規則の改定について ④ キャリア形成と任用・処遇に関する制度運営要綱の改定について ⑤ 賞与支給に関する運用規定の改定について ⑥ 退職金制度への「はぐくみ基金」導入に係る契約について (報告事項) ① 理事長の職務執行状況について ② 令和3年度上半期会計報告	村田経理事務所

4	令和4年 2月 18 日 ※決議の省略	理事：6名 監事：2名	(提案事項) ① 職員給与規則改定の承認について ② 準職員給与規則改定の承認について ③ 無期転換職員給与規則改定の承認について ④ 嘱託職員給与規則改定の承認について ⑤ 福祉はぐくみ企業年金基金に係る取扱い規程制定の承認について ⑥ 資産形成 DB 手当給付規程制定の承認について ⑦ 処遇改善加算等に基づく給与処遇改善要領改定の承認について	—
5		理事：6名 監事：2名	(決議事項) ① 令和3年度第2次補正予算(案)の承認について ② 令和4年度事業計画(案)の決議について ③ 令和4年度事業予算(案)の決議について ④ 役員等賠償責任保険契約の決議について ⑤ 職員就業規則の改定について ⑥ 育児・介護休業等に関する規則の改定について ⑦ 公用車使用及び管理規程の改定について (報告事項) ① 令和3年度第4回理事会(決議の省略)報告 ② 福祉はぐくみ企業年金基金に係る取扱い規程について ③ 理事長の職務執行状況報告について	村田経理 事務所

(2) 評議員会

回	日 時	出 席 者	議 領	場 所
1	令和3年 6月 28 日 ※一部オ ンライン 会議	評議員：6名 理事：6名 監事：1名	(決議事項) ① 令和2年度決算の承認について ② 次期役員の選任について ③ 役員報酬総額について (報告事項) ① 令和2年度事業報告について	特養ふるさ と 2F

		② 令和3年度事業のうち重要な事項について	
--	--	-----------------------	--

(3) 監事監査

回	日時	参加者	内容	場所
1	令和3年 6月4日 ※電話にて書面監査に対する質疑	監事：1名 理事長 会計責任者：1名	① 令和2年度計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書の監査	特別養護老人ホームふるさと

3. 収支状況及び財産の状態の推移

事業活動収支及び貸借対照表

単位：千円

事業年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
前期繰越活動増減差額	327,989	333,317	363,834	367,686	395,586
当期活動収益合計	565,122	577,688	570,138	594,808	583,827
当期活動費用合計	559,794	547,172	566,286	568,772	568,358
当期活動増減差額	5,328	30,516	3,852	27,899	11,220
次期繰越活動増減差額	333,317	363,834	367,686	395,586	406,806
資産合計	1,363,001	1,364,779	1,337,121	1,323,276	1,285,834
負債合計	732,664	709,013	681,943	641,643	597,974
純資産合計	630,337	655,766	655,178	681,632	687,860

本年度は、特に特養における退所者が例年平均の約1.5倍（31名）と大幅に増加したうえ、新型コロナ感染症の間接的な影響により、退所後の入所対応に遅れが出たことで、稼働率の低下につながったことが収益減の要因となった。

※詳細は別資料「計算書類」参照

4. 社会福祉法人制度改革への対応

改正社会福祉法（平成29年4月1日施行）に基づき下記対応をとった。

- (1) 情報開示：現況報告書及び、令和2年度財産目録、計算書類、役員名簿、役員報酬規程等について、6月末までに西海市に提出の上、ホームページで公表した。
- (2) 社会福祉充実残額の計算：「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」において公開された計算シートに沿って算定した結果、令和2年度社会福祉充実残額は「無

し」であった。

5. 地域における公益的取り組みについて（法24条2項関係）

（1）ふるさとレスキュー事業（再掲）

第二種社会福祉事業「生計困難者に対する相談支援事業」

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施。県経営協の西海地区担当幹事法人を地区内の別法人へ移管引継ぎを行った。コミュニティ・ソーシャル・ワーカー設置法人としては、昨年度より対応していたケースが1件あった。

（2）「介護教室」「出前講座」等の開催及び講師の派遣について

平時であれば例年地域に対して介護制度関係の情報提供等実施するところ、新型コロナウィルス感染症感染拡大防止の観点から本年度実施できなかった。

6. 規程等の制定及び改定

- ① 定款細則及び稟議及び事務決裁規程の改定（専決事項決裁額の変更）
- ② 処遇改善加算等に基づく給与処遇改善要領の制定（処遇改善加算手続きの効率化及び処遇改善補助金への対応）
- ③ 在宅勤務規程の制定（今後の働き方への対応）
- ④ 評議員選任・解任委員会の運営に関する規則の改定（法人監査における指導対応：文言の統一等）
- ⑤ キャリア形成と任用・処遇に関する制度運営要綱の改定（実態に合わせた給与水準の表記、職務能力及び評価基準内容の変更）
- ⑥ 賞与支給に関する運用規定の改定（評価判定の内容及び基準の変更）
- ⑦ 職員給与規則の改定（はぐくみ基金導入のため）
- ⑧ 準職員、無期転換職員、嘱託職員に係る上記給与規則の改定（同上）
- ⑨ 福祉はぐくみ企業年金基金に係る取扱い規程の制定（同上）
- ⑩ 資産形成DB手当給付規程の制定（同上）
- ⑪ 職員就業規則の改定（改正育児・介護休業法への対応）
- ⑫ 育児・介護休業等に関する規則の改定（同上）
- ⑬ 公用車使用及び管理規程の改定（改正道路交通法への対応）

7. 行政による指導監査

（1）西海市社会福祉法人一般監査

日 時：令和 3 年 10 月 26 日（火） 9:30~15:30

訪問者：西海市 福祉課 監査指導班 課長補佐 小嶋隆氏ほか 2 名

監査結果：概ね良好で、指摘事項なし。助言として、評議員選任解任委員会における決議の省略の規定化の提案があった。

→現行の手続きで法令的に問題ないため、本助言には対応しない

（2）西海市地域密着型事業所実地指導

対象事業所：小規模多機能ホームふるさと

日 時：令和 3 年 12 月 14 日（火） 9:30~15:30

訪問者：西海市 福祉課 監査指導班 課長補佐 小嶋隆氏ほか 1 名

指導結果：概ね良好。指摘事項、助言・指導いずれもなし。

（3）長崎県老人福祉設置事務指導（コロナ禍のため電話にて）

対象事業所：サービス付きシニアマンションふるさと

日時：令和 3 年 9 月 28 日 14:00~14:45

指導担当者：長崎県福祉保健部 監査指導課 光崎氏

指導結果：民法改正に伴う極度額の表示について指導あり。その他概ね良好とのこと。口頭による助言が数点あった。

（参考）

- ・長崎県より特養実地指導の通達あるもコロナのため中止となった

8. 防災・防犯対策

（1）防災対策

- ・ふるさと非常災害対策計画（B C P）の見直し（法人防災会議）
- ・各事業所災害対策訓練の実施

（2）防犯対策

- ・各事業所における防犯訓練の実施

9. 主な法人行事

行 事 名	日 付	参加等	備 考
令和 3 年度 家族会総会（上半期）	令和 3 年 4 月	書面決議	令和 2 年度事業報告及び決算、 令和 2 年度事業計画及び予算、 役員改選他
ふるさと敬老式典並びに敬老 演芸会：各事業所	9 月 20 日	各事業 所利用者	各事業所別に開催。市長からは 前年同様動画で祝意を述べてい ただいた。また、後日ご家族へ

			動画配信も行った
ふるさと秋祭り	-	-	新型コロナ感染状況により中止
ギター・コンサート ：オンライン	8月11日 10月14日 12月15日	利用者 職員	長崎市在住の音楽家・山口修氏、純子氏による音楽鑑賞会を定期的(3回)に開催した。各事業所はオンラインで参加し、演奏される懐かしい曲に、口ずさんだり、手拍子を打ったりして楽しく参加されていた。
令和3年度 地域連携防災協力会議 ：特養ホール	12月9日	行政・地 域関係者 40名 職員 43名	市長、消防署、地域関係者参加のもと1年ぶりに開催。消防署からは、搬送の実演も交えて講和があった。地域関係者も参加しての民間協力会議に初めて参加された市長からは感心したとの声が聞かれた。
ふるさとアワード2021 ：特養2F研修室	12月27日	職員	コロナ禍にもかかわらず、懸命に利用者・現場を守る職員への慰労をかねて、業務優秀者への表彰と全職員へ慰労の品を贈った。

10. 研修・教育

(1) コンサルティング研修

講師：(株) ポストヒューマンジャパン谷本正徳氏

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
令和3年 4月8日	組織活性化支援コンサルティング (Web研修) ・科学的リーダーシップ&マネジメント・コミュニケーションメソッド	理事長	1
		コンサルティング	5
		メンバー	
	管理者研修 ・「1on1 フィードバックミーティング」ワークショップ ワークショップ やりとりの基本①について事例検討	理事長	1
4月26日	組織活性化支援コンサルティング (Web研修) ・「1on1 フィードバックミーティング」の熟練のための 「NLP 心理学」の学び	コンサルメンバー	5
		主任・管理者	11
	管理者研修	理事長	1

	・「1on1 フィードバックミーティング」ワークショップ やりとりの基本②上司と部下との信頼関係構築の学び	コンサルメンバー	5
		主任・管理者	9
6月2日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・行動経済学（科学的）マネジメントトレーニング 「1on1 フィードバックミーティング」	理事長	1
		コンサルメンバー	5
7月7日	管理者研修 ・コミュニケーションスキルマスタートレーニング 「1on1 フィードバックミーティング」ワークショップ	理事長	1
		コンサルメンバー	5
		主任・管理者	9
7月27日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・「行動（成長）のルール」見直しについて 「1on1 フィードバックミーティング」の熟練のための プロファイリング	理事長	1
		コンサルメンバー	5
	管理者研修 ・科学的マネジメントの学び組織活性化「心理的安全 の確保が10割」について	理事長	1
		コンサルメンバー	5
		主任・管理者	9
9月1日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・コンサルメンバー個別カウンセリング	理事長	1
		コンサルティング	5
10月5日	管理者研修 ・「行動（成長）のルールと「標的行動」の見直し・簡素化 「第1回フィードバックミーティングは簡単です講座」 「不快ゾーン 矛盾」について	理事長	1
		コンサルメンバー	6
		主任・管理者	11
9月1日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・主任・管理者個別カウンセリング	理事長	1
		主任・管理者	3
10月5日	・プロジェクトメンバートレーニング 成長のルールの見直 しの考え方 今後の方針（理事長説明）制度、政策の理解 促進トレーニング	コンサルメンバー	5
9月1日	・管理者研修 成長のルールの見直しの考え方、方針説明 上司の役割と責任 フィードバックスキルトレーニング 介護施設内での転倒に関するステートメントについて	理事長	1
		コンサルメンバー	6
		主任・管理者	11
10月5日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・プロジェクトメンバートレーニング①科学的マネジメント 組織心理学トレーニング「きっかけ・教育・行動・モチベ ーション」②科学的リーダーシップ「自立支援介護」が定 着する上で知っておくべきこと	理事長	1
		コンサルメンバー	5
	・管理者研修 マネジメントトレーニング「人間として、職業人として成	理事長	1
		コンサルメンバー	5

	長するための考え方」	主任・管理者	9
11月9日	第18回組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・個別カウンセリング・コーチング ・管理者研修 コミュニケーションスキル向上トレーニング 上司と部下のコミュニケーションコーチング&カウンセリング　フィードバックミーティングとの具体的方法について	理事長 管理者・リーダー	18 4
		理事長	1
		コンサルメンバー	5
		主任・管理者	12
11月23日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・個別カウンセリング・コーチング	副主任	1
25日	・個別カウンセリング・コーチング	リーダー	4
12月24日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・フィードバックミーティングマニュアルの説明　リーダー心理学 管理者研修 「成長のルールの見直しと今後の運用の考え方」 組織の落とし穴「自主性に任せる」落とし穴について	理事長 コンサルメンバー	1 5
		理事長	1
		コンサルメンバー	5
		主任・管理者	9
令和4年 2月2日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・ラポール形成スキル実践のための復習インプットトレーニング及び応用スキル　ラポール構築について 管理者研修 T.O.T.モデル成長のルール見直しと今後の運用の考え方 タイムマネジメントの原理・原則	理事長 コンサルメンバー	1 5
		理事長	1
		コンサルメンバー	5
		主任・管理者	10
2月23日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・部下を成長させる質問　オープン・クエスチョン 管理者研修 VAKとは何か（表象システムの説明と運用方法） 目標達成＆先送り防止の戦略	理事長 コンサルメンバー	1 5
		理事長メンバー	1
		主任・管理者	5
			9
3月22日	組織活性化支援コンサルティング（Web研修） ・新理念体系の発表（SFGS・事業計画） ・プリンシブル発表と解説 管理者研修 ・令和4年度標的行動の発表と検討	理事長 コンサルメンバー	1 4
		理事長	1
		コンサルメンバー	5
		主任・管理者	9
	研修回数　26回	延べ人数（名）	287

(2) 応用行動分析学（ABA）・行動変容トレーニング（Web 研修）

講師：(株) ポストヒューマンジャパン・ABA 教育コンサルタント 上村裕章氏

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
令和 3 年 6 月 9 日	応用行動分析学・行動と行動変化の測定（Web 研修） ・応用行動分析学（ABA）の基礎理論と特徴の理解と行動と 変化の測定方法について 課題の提示	理事長 法入人事部・総務	1 3
6 月 30 日	ABA 実践 行動の基本原理 強化・弱化・消去の定義 課題についての発表とコメント	理事長 法入人事部・総務	1 2
7 月 28 日	ABA 実践 行動の基本原理 強化・弱化・消去 演習 正・負の強化と弱化の具体例を学ぶ	理事長 法入人事部・総務	1 2
8 月 25 日	ABA 個別トレーニング 1-1（カウンセリング）	総務	1
	個別カウンセリング後、業務の現状と今後の研修方針につい て	理事長 人事部	1 1
9 月 22 日	ABA 個別トレーニング 2-1（カウンセリング）	2GH 管理者	1
	個別トレーニング後、講評に基づく現状と指導対応について	理事長 人事部	1 1
		地域密着型施設長	1
10 月 20 日	ABA 個別トレーニング 1-2	総務	1
	個別トレーニング後、講評に基づく現状と指導対応について	理事長 人事部	1 1
11 月 17 日	ABA 個別トレーニング 2-2	2GH 管理者	1
	個別トレーニング後、講評に基づく現状と指導対応について	理事長 人事部	1 1
		地域密着型施設長	1
12 月 1 日	ABA 個別トレーニング 1-3	総務	1
	個別トレーニング後、講評に基づく現状と指導対応について	理事長 人事部	1 1
12 月 22 日	ABA 個別トレーニング 2-3	2GH 管理者	1
	個別トレーニング後、講評に基づく現状と指導対応について	理事長 人事部	1 1
		地域密着型施設長	1
令和 4 年 1 月 19 日	ABA 個別トレーニング 1-4 2-4	総務 2GH 管理者	2
	個別トレーニング後 講評と指導対応について総括	理事長 人事部	1 1
		地域密着型施設長	1

研修回数	10回	延べ人数(名)	36
------	-----	---------	----

(3) 自立支援介護導入教育合同コンサルティング研修 (Web 研修)

講師：(株) ポストヒューマンジャパン

自立支援介護導入・教育シニアコンサルタント 根岸広英氏 河村英寿氏

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
令和3年 5月 27日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・総論・基本ケアについて 今後の研修計画と事例検討様式についての説明	全事業所 介護職他	22
6月 25日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・水分ケアの基礎理論① 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 特養冬フロア)	全事業所 介護職他	24
7月 15日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・水分ケア基礎理論② 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 シニアサポートセンター)	全事業所 介護職他	22
8月 19日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・歩行ケア基礎理論① 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 第2グループホーム)	全事業所 介護職他	23
9月 16日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・歩行ケア基礎理論② 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 特養冬フロア)	全事業所 介護職他	23
10月 21日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・排泄ケア基礎理論① 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 特養秋フロア)	全事業所 介護職他	28
11月 18日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・排泄ケア基礎理論② 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 特養夏フロア)	全事業所 介護職他	21
12月 16日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・排泄ケア基礎理論③ 各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 特養春フロア)	全事業所 介護職他	21
4年 1月 20日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から5法人合同参加 ・食事ケア基礎理論①各法人から事例発表・検討 (ふるさと発表 グループホーム)	全事業所 介護職他	21
2月 9日	自立支援介護研修補講 (Web 研修) 谷本社長 ・エイジズムについて 後日2月末まで全職員動画研修	全事業所 全職員	110

2月 17 日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から 5 法人合同参加 ・認知症ケア基礎理論① (ふるさと発表 第 2 グループホーム)	全事業所	21
		介護職他	
3月 17 日	自立支援介護研修 (Web 研修) 全国から 5 法人合同参加 ・認知症ケア基礎理論② (ふるさと発表 特養冬フロア)	全事業所	19
		介護職他	
研修回数 12 回		延べ人数 (名)	355

(4) 口腔ケア委員会・口腔ケアセミナー・確認試験 (Web 研修・実地研修)

講師：(株) クロスケアデンタル ゼロプロ推進事業部

瀧内博也歯科医師 荒平智子理学療法士

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
4月 8 日	口腔ケア委員会① ・ (A) 各事業所、入院状況と毎月口腔ケアの実施状況 (OHAT 評価) と対と手技の指導	全職種	16
5月 7 日	口腔ケア委員会② (A)	全職種	16
6月 7 日	口腔ケア委員会③ (A)	全職種	17
7月 8 日	口腔ケア委員会④ (A)	全職種	18
8月 12 日	・ 口腔ケア中級セミナー① (瀧内医師) ゼロプロ式口腔ケア認定検定	全職種	10
8月 6 日	口腔ケア委員会⑤ (A)	全職種	17
9月 10 日	口腔ケア委員会⑥ (A)	全職種	14
10月 8 日	口腔ケア委員会⑦ (A)	全職種	14
11月 5 日	口腔ケア委員会⑧ (A)	全職種	13
12月 2 日	・ ゼロプロ式口腔ケア検定 (実技・筆記) 中級 2 名合格 特養：稻塚愛莉 浦崎瑞穂 (クロスケアアカデミー認定 終了認定試験)	介護職	3
12月 3 日	・ ゼロプロ式口腔ケア検定 (実技・筆記) 中級 2 名合格 特養：川上玲奈 日数谷心	介護職	3
12月 7 日	・ ゼロプロ式口腔ケア検定 (実技・筆記) 中級 3 名合格 GH 特養 宮崎妙子 GH 松本憲和 第 2GH 伊藤健太	介護職 看護職	5
12月 8 日	口腔ケア委員会⑨ (A)	全職種	13
1月 7 日	口腔ケア委員会⑩ (A)	全職種	12
1月 28 日	・ 口腔ケア中級セミナー② (瀧内内医師)	介護職	2
2月 1 日	ゼロプロ式口腔ケア検定 (実技・筆記) 中級 2 名合格	介護職	2

	第 2GH 内海さつき サポセン 田川拓生)		
2月 8日	口腔ケア委員会⑪ (A)	全職種	14
2月 25日	・口腔ケア上級セミナー① (瀧内内医師)	介護職	8
3月 7日	・ゼロプロ式口腔ケア検定 (実技・筆記) 上級 1名合格第 2GH : 伊藤健太	介護職 看護職	6
3月 8日	口腔ケア委員会⑫ (A)	全職種	15
3月 25日	・口腔ケア中級セミナー③ (瀧内医師)	介護職	4
	研修回数 21 回	延べ人数 (名)	222
	合格者 中級 9 名 上級 1 名 計 10 名		

(5) e ラーニング (個別 Web 研修) (法定研修、職種別・階級別研修)

株式会社メドレー

月 日	内 容	参加者	
		職 名	数
令和 3 年	【全員共通】必修研修 288 分 44 秒	全職員	—
5 月	・接遇に関する研修①～⑤ 33 分 : 27 秒	全職員	
5 月	・認知症及び認知症ケアに関する研修①～⑤ 33 分 50 秒	全職員	—
6 月	・プライバシーの保護の取り組みに関する研修①～⑦ 23 分 29 秒	全職員	—
7 月	・倫理及び法令遵守に関する研修①～⑦ 15 分 41 秒	全職員	—
8 月	・事故発生又は再発防止に関する研修①～④ 11 分 02 秒	全職員	—
9 月	・緊急時の対応に関する研修①～④ 10 分 26 秒	全職員	—
10 月	・感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修①～⑧ 24 分 34 秒	全職員	—
11 月	・身体拘束の排除のための取り組みに関する研修①～⑦ 26 分 17 秒	全職員	—
12 月	・非常災害時の対応に関する研修①～⑥ 13 分 46 秒	全職員	—
4 年 1 月	・ターミナルケアに関する研修①～⑦ 22 分 39 秒	全職員	—
2 月	・高齢者虐待防止に関する研修①～⑧ 49 分 08 秒	全職員	—
3 月	・介護予防に関する研修①～④ 24 分 25 秒	全職員	—
5 月～ 4 年 3 月	【新人研修】 206 分 19 秒	介護職 5 名	
	・介護事故・ヒヤリハット研修①～⑫ 48 分 29 秒	(特養 4 名)	5
	・おむつ交換①～㉑ 25 分 52 秒	(サポセン 1 名)	5
	・排泄ケア基礎理論② 各法人から事例発表・検討		5
	・ベッド上での移乗①～⑤ 11 分 29 秒		5
	・歩行・車いすでの移動①～⑧ 20 分 41 秒		5

	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣①～⑤ 13分59秒 ・口腔ケア①～⑦ 24分52秒 ・入浴介助①～⑧ ・ボディメカニズム①～④ 24分47秒 		5 5 5 5
5月～ 4年3月	<p>【経験者A（入職3年末満介護職）】 182分03秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事故・ヒヤリハット研修①～⑫ 48分29秒 ・チームコミュニケーション①～⑥ 4分11秒 ・褥瘡予防①～⑤ 14分56秒 ・服薬管理①～④ 17分54秒 ・ボディメカニクス①～④ 24分47秒 ・高齢者に多い疾患研修①～② 23分47秒 	<p>介護職 7名</p> <p>(特養4名) 7</p> <p>(GH 1名) 7</p> <p>(第2GH 2名) 7</p> <p></p> <p></p> <p></p>	7 7 7 7 7 7
5月～ 4年3月	<p>【経験者B（一般介護職）】 177分56秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事故・ヒヤリハット研修①～⑫ 48分29秒 ・服薬管理①～④ 17分54秒 ・高齢者に多い疾患研修①～② 23分47秒 ・チームコミュニケーション①～⑥ 28分11秒 ・メンタルヘルスケア研修①～⑩ 11分35秒 	<p>介護職 30名</p> <p>(特養17名) 30</p> <p>(GH5名) 30</p> <p>(第2GH5名) 30</p> <p>(サポセン3名) 30</p> <p>看護師・管理者2名</p>	30 30 30 30 30 32
5月～ 4年3月	<p>【経験者C（サブリーダー以上の介護職）】 204秒39秒</p> <p>介護職31名（特養17名 GH5名 第2GH5名 サポセン4名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事故・ヒヤリハット研修①～⑫ 48分29秒 ・医学的危機管理①～⑨ 18分14秒 ・リスクマネジメント研修①～⑨ 27分12秒 ・チームケアによる利用者満足創出のポイント①～⑨ 51分37秒 ・目標管理とは①～② 22分58秒 ・多職種連携①～② 21分02秒 ・担当者会議研修①～② 15分07秒 	<p>介護職 31名</p> <p>看護師8名参加</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>	31 39 31 31 31 31 31 31
5月～ 4年3月	<p>【看護職員】 194分16秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い皮膚疾患研修①～② 10分35秒 ・医学的危機管理①～⑨ 18分14秒 ・老化に伴うこころとからだの変化①～⑤ 33分33秒 ・高齢者に処方される薬と副作用研修①～② 17分12秒 ・服薬管理①～④ 17分54秒 ・メンタルヘルスケア研修①～⑩ 11分35秒 ・地域医療連携①～② 16分11秒 ・多職種連携①～② 21分02秒 	<p>看護職員</p> <p>(特養9名) 11</p> <p>(第2GH1名) 11</p> <p>(サポセン1名) 11</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>	11 11 11 11 11 11 11 11
5月～	【介護支援専門員】 200分03秒	介護支援専門員	

4年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント研修①～② 21分21秒 ・モニタリング研修①～② ・ケアマネジメント研修①～② ・目標管理とは①～② 22分58秒 ・実地指導研修①～② 37分44秒 ・担当者会議研修①～② 15分07秒 ・成年後見制度①～② 17分50秒 ・相談援助技術①～② 18分22秒 ・居宅介護計画の作成研修①～③ 26分20秒 	(特養1名)	4
		(第2GH1名)	4
		(サポセン1名)	4
		(居宅1名)	4
			4
			4
			4
			4
			4
			4
5月～ 4年3月	<p>【生活相談員】 196分47秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助技術①～② 18分22秒 ・成年後見制度①～② 17分50秒 ・ケアマネジメント研修①～② ・目標管理とは①～② 22分58秒 ・事業計画 10分58秒 ・多職種連携①～② 21分02秒 ・実地指導研修①～② 37分44秒 ・担当者会議研修①～② 15分07秒 ・居宅介護計画の作成研修①～③ 26分20秒 	生活相談員	
		(特養1名)	1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
5月～ 4年3月	<p>【事務員】 財務会計 38分10秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計はなぜ必要か 5分57秒 ・決算書の簡単な見方 ①～④40分10秒 	事務員	
		(特養4名)	4
			4
5月～ 4年3月	<p>【栄養士・調理員】 123分40秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護食レシピ集①～⑧ 91分12秒 ・衛生・準備①～⑧ 32分28秒 	栄養士・調理員	
		(特養7名)	9
		(サポセン2名)	9
5月～ 4年3月	<p>【管理者等】 212分49秒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の役割と責任の在り方①～⑤32分39秒 ・どのような事業所をつくりたいですか 8分31秒 ・人件費に関する分析①～② 8分5秒 ・目標管理とは①～② 22分58秒 ・事業計画 10分58秒 ・多職種連携①～② 21分02秒 ・担当者会議研修①～② 15分07秒 ・実地指導研修①～② 37分44秒 	主任・管理者13名	
		(特養7名)	13
		(GH2名)	13
		(第2GH2名)	13
		(サポセン1名)	13
		(居宅1名)	13
			13
			13
			13
			13
研修回数 77回		延べ人数(名)	2131

(6) その他研修（施設内外）Web 研修含む

月 日	研 修 名	講師・指導者	参 加 者	
			職 名	数
令和 3 年 4 月 1 日	令和 3 年度法人ふるさと 事業方針説明会 当日不参加者は後日動画研修 受講	理事長	全職員 特養 GH 第 2GH サポセン 居宅	67 15 14 14 2
4 月 13 日 ～14 日	喀痰吸引等資格取得通学研修 長崎ブリックホール 中村美咲 岩倉佳輔 松本流星	(株) オーポックス	特養介護職	3 3
4 月～ 11 月	喀痰吸引等実地研修 3名 中村美咲 岩倉佳輔 松本流星 喀痰 10 回/人 胃ろう 20 回/人	法人ふるさと 橋本看護主任	介護職	90
6 月 14 日 ～15 日	介護支援専門員更新研修専門課程 Ⅱ前期 佐世保市労働福祉センター 辻純子	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	サポセン：介護 支援専門員	2
6 月 16 日 ～18 日	介護支援専門員更新研修専門課程 1 及び更新研修 1 小田千秋	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	居宅：介護支援 専門員	3
7 月 12 日	法人新任職員研修会 法人ふるさと概論（理念 福祉 介護保険制度 法令遵守 ふるさ と組織概論 身体拘束適正化 姿勢のルール 感染症対策他 西尾美香 古賀睦望 坂口玲奈 山下ミレラ 田崎一美 井上恵	理事長 人事部長	特養：介護・看護 調理 サポーター サポセン：介護 サポーター	2 2 1 1
7 月 6 日	法人ふるさと SNS キックオフ 計画と基礎知識の習得 法人インスタグラム作成に向けて 掲載記事確認作業	Wing frapping KAY 田川好美氏	理事長 特養：人事部長 統括主任 介護職 GH：介護職 2GH：介護職 サポセン：介護職	1 1 3 1 1 1
8 月 4 日	法人ふるさと SNS 活用研修	田川好美氏	〃	7
9 月 15 日	法人ふるさと SNS 活用研修			7

10月13日	法人ふるさとSNS活用研修			7
11月12日	法人ふるさとSNS活用研修			7
7月13日	介護施設における安全対策担当者 オンライン養成研修 岩永次長	全国老施協	特養：次長相談員	1
7月10日 ～11日	介護支援専門員更新研修専門課程 Ⅱ更新研修Ⅱ 佐世保市労働 福祉センター 辻純子 小田千秋	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	サポセン：居宅 介護支援専門員	2 2
7月15日 ～12月	介護初任者・実務者研修 全22回 佐世保市 末岡明1名	三幸福祉カレッジ 佐世保校	GH：介護職	22
8月4日 ～7日	介護支援専門員更新研修専門課程 1 更新研修1 長崎総合福祉セン ター 小田千秋	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	居宅：介護支援 専門員	4
8月26日 ～27日	ユニットケアリーダーオンライン 研修 中村美咲 岩倉佳輔 松本流星	全国個室ユニット型施設 推進協議会	特養：介護職 〃	3 3
10月10日 16日 17日	令和3年度長崎県介護に関する 入門的研修 西彼保健福祉センター遊遊館 山本真広 西尾美香 本田頼子 平澤津しげみ 井上恵 中道由美	(株)ニチイ学館長崎支店	特養：介護 サポセン：介護 第2GH：介護	12 3 3
10月21日 ～23日	令和3年度介護施設等の看護実務 者研修 伊藤健太 諫早市 ながさき看護センター	長崎県看護協会	第2GH；看護	1 1
10月22日	高齢者入所施設における新型コロ ナウイルス感染症対策WEB研修 会 理事長 永野センター長 岩永次長	長崎県西彼保健所	理事長 センター長 特養：次長	1 1 1
10月26日 ～29日	主任介護支援専門員更新研修 (後期) 佐世保労働福祉センター 永野修	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	居宅：管理者	4
11月3日	法人新任職員研修 法人ふるさと概論(理念 福祉 介護保険制度 法令遵守 ふるさ と組織概論 身体拘束適正化 姿勢のルール 感染症対策他 浅本未貴 上村さと子 高橋佐智 子 黒木真由美	理事長 人事部長	特養：調理 介護 サポーター 第2GH：介護	2 1 1

11月21日 22日	介護支援専門員更新研修専門課程 II（前期）佐世保労働福祉センタ ー 岩永次長	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	特養：次長	1 1
11月25日	介護施設における安全対策担当者 オンライン養成研修 池田副主任	全国老施協	特養：介護主任	1
9月1日 ～30日	九州老人福祉設職員研究 Web 大会 (長崎大会) オンライン研修	九州老施協	全職員 動画配信	115
12月13日 14日	介護支援専門員更新研修専門課程 II（後期）佐世保労働福祉センタ ー 岩永次長	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	特養：次長	1 1
12月20日 ～23日	主任介護支援専門員更新研修 (後期) 佐世保労働福祉センター 永野修	長崎県介護支援専門員 連絡協議会	居宅：管理者	4
12月21日	法人新任職員研修 法人ふるさと概論（理念 福祉 介護保険制度 法令遵守 ふるさ と組織概論 身体拘束適正化 姿勢のルール 感染症対策他 松尾幹也 馬場里美	理事長 人事部長	特養：事務員 GH：看護	1 1
4年1月 14日～31日	令和3年度全国老人福祉施設研究 会議（鹿児島会議）動画配信	全国老施協	全職員	115
1月18日	新型コロナウイルス（オミクロン 株）の現状と感染症対策に関する オンライン研修会	長崎県長寿社会課	理事長 センター長 特養：次長	1 1 1
2月18日	ペーパーレス時代に向けた社会 福祉法人の事務効率化オンライン セミナー 杉野正和 松尾幹也	応研（株）	理事長 特養：事務	2
2月22日	介護人材戦略オンラインセミナー (これからの人材戦略)	介護労働安定センター 長崎支部	理事長 人事部長	1 1
3月7日	法人新任職員研修 法人ふるさと概論（理念 福祉 介護保険制度 法令遵守 ふるさ と組織概論 身体拘束適正化 姿勢のルール 感染症対策他 宮田智子 斎藤織恵	理事長 人事部長	特養：介護 事務	2
3月8日	介護人材戦略オンラインセミナー (これからの人材戦略の実践)	長崎労働安定センター	特養：相談員	1

3月15日	介護職員処遇改善支援補助金に係る説明会について（Web）	長崎県福祉保健部長寿社会課	特養：事務	1
3月9日	令和3年度社会福祉法人会計基準実践的基礎講習（Web）	(株)川原経営総合センター	特養：事務	1
	研修回数 21回			延べ人数（名） 577

〈動画配信 YouTube ふるさと公式ページ〉

月 日	研 修 名	講師・指導者	参 加 者	
			職 名	数
令和3年 4月1日	令和3年度社会福祉法人事業方針	北島淳朗（理事長）	全職員視聴	
4月15日	新型コロナ感染ステージへ	北島淳朗（理事長）	全職員視聴	
4月16日	コロナワクチン接種説明会について	北島淳朗（理事長）	全職員視聴	
4月23日	いつ自分が濃厚接触者になるかわからない	北島淳朗（理事長）	全職員視聴	
5月19日	コロナワクチン接種について周知	北島淳朗（理事長）	全職員視聴	

（4）資格取得（キャリア形成）支援

- ・ 介護職実務者研修 1名
- ・ 介護支援専門員 1名
- ・ ユニットリーダー研修 3名
- ・ 咳痰吸引等研修 3名

1.1. 助成・補助事業

○長崎県令和2年度繰越予算「介護ロボット導入補助事業」

- ・ 整備内容：特養／見守り支援システム「眠りスキャン」31台導入
- ・ 納入業者：長崎病協
- ・ 事業費：3,273,600円
- ・ 補助金：2,449,000円
- ・ 完了日：令和3年7月14日

1.2. その他報告すべき主な事業

（1）全事業所）自立支援介護コンサルティング契約

- ・ 契約内容：水分補給、排泄援助、栄養改善、運動等による自立支援介護の実践

を学ぶためコンサルティング

- ・契約先：ポストヒューマンジャパン株式会社
- ・事業費：年額 1,200,000 円
- ・契約日：令和3年4月1日

(2) 法人) 会計記帳代行及び決算入力代行業務委託契約

- ・契約内容：令和2年10月より経理担当職員退職後の体制として急遽記帳代行を依頼していたが、この度正式に契約したもの
- ・契約先：岡・小坂事務所
- ・事業費：月額 100,000 円（年額 120 万円）決算月別途 10 万円
- ・契約日：令和3年4月1日

(3) 「ふるさとアワード2021」の開催について（12月27日）

- ・新型コロナウイルス対応のため私生活やメンタル面で大きな影響を受けている職員の慰労のため、福利厚生の一環として年間表彰セレモニーを開催した。
- ・表彰部門は、利用者支援等の各業務への取組みを評価する部門表彰と、職員が他の職員を推薦する推薦表彰の2つの部門で表彰した。

（各受賞者には副賞あり ※総予算：368,000 円）

- ・選から漏れた職員にも全員にクオカード（500 円相当）を配布した

(4) 退職積立金制度「はぐくみ基金」の導入

- ・法人独自の退職金制度の財源として生命保険の運用が期待できなくなったため、公的企業年金制度を運用し、その社会保険料節減分を原資として充当する目的で当該基金を導入した。（令和3年度第3回理事会承認事項）
- ・対象者 98 名（厚生年金資格対象者）中 51 名加入（加入率 52%）

13. 職員異動

施設・事業所	増				減			
	採用		異動		退職		異動	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
特 養	10	1	0	0	3	3	1	0
G H	2	0	2	0	2	0	1	0
第 2 G H	1	0	0	0	2	0	1	0

サ ポ セ ン	2	0	1	0	1	0	0	0
居 宅	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	1	3	0	8	3	3	0
総 計	16		3		11		0	
職 種	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介 護 職	4	1	3	0	5	1	3	0
看 護 職	3	0	0	0	1	0	0	0
ケ ア マ ネ	0	0	0	0	0	0	0	0
事務・調理員・雑 務	8	0	0	0	2	2	0	0
アルバイト	0	2	0	0	0	3	0	0
そ の 他	病休4名、産休・育休5名							

○ 永年勤続表彰者 計 10名

勤続 35年2名 (特休7日 慰労金80,000円)

※ うち1名は非常勤のためふるさと職員会より30,000円支給

30年1名 (特休7日 慰労金70,000円)

15年2名 (特休4日 慰労金30,000円)

10年1名 (特休3日 慰労金20,000円)

5年4名 (特休2日 慰労金10,000円)

以上

令和3年度事業報告「ふるさとレスキュー事業」

1. 事業概況

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施した。

- レスキュー基金への拠出金：85,000 円

県経営協役員としての活動

R4.2.9 「生計困難者レスキュー事業 全体会議（オンライン）」（県経営協）

① 西彼・西海ブロックにおける活動

R3.4.7 西彼・西海地区ブロック幹事法人の引継ぎを社会福祉法人 西海市手をつなぐ育成会の担当者と行う。

R4.1.21 西海地区ブロック会議を当施設にて開催予定であったが、新型コロナ感染拡大のため、開催を中止する。

R4.2.9 県経営協レスキュー事業全体会議を利用し、会議中に「生計困難者レスキュー事業 西彼・西海地区ブロック会議」を開催。

市内8法人の担当者出席のもと、令和3年度の活動事例やサポーターの役割について協議した。

② 県経営協「レスキュー事業」実績（R3.4.1～R4.3.31）

～県内複数法人による公益的取り組みとして

- 参加法人数：108 法人

- レスキュー基金総額：17,094,560 円

- 支援実績（現物給付額）：3,771,443 円（1件当たり平均支援額：17,300 円）

- 支援状況

・年間相談受付数…220 件

2. 相談支援状況

(1) 直接対応した案件 1件（令和2年度末から引継ぎ）

受付	相談者	事案タイトル	相 談 概 要	対応及び支援内容 [支援額]
3/5	西海市 子ども 課	給与支給までの 食料、日用品の 支援	33代男性。昨年からの新型コロナ の影響で3人の子どもの面倒を見 るために仕事を休まざるを得ない 状況が続き、解雇となる。長男が生 まれながらの難聴にて特別児童手 当や児童手当の収入はあるも生活	食料、日用品の支 援 【44,550 円】

			日に当て、残金が少ない。本人は働く意欲もあり、3/22より就職決まるが給料は先となるため、次回の特別児童扶養手当までの食料と日用品の支援をレスキューで支援。	
--	--	--	--	--

令和3年度事業報告

「特別養護老人ホームふるさと・短期入所生活介護」

1. 事業概況

令和3年度の入所者状況は、在籍率は97.9%と昨年度と比べ、1.4%減となった。年平均介護度は3.9と昨年度より0.1軽くなっている。入院数は一日平均3.7人で、年平均入所者数は64.8人。年間を通しての入院者数は1,342人で昨年に比べ入院者数が392人増加した。

退所者は31人で昨年より12名増加。内、長期入院のための退所が8人、死亡退所が22人、内医療機関での死亡が6人、施設での看取りケアを11人実施している。利用者の在所期間は2.8年と昨年より期間は短縮し、入院者数、入院日数は増加した。また、昨年に比べると入退所件数も多く、利用者の状態変化が多い年度となった。

短期入所利用状況については、一日平均9.0人。昨年より0.4人増加し、年間の稼働率は89.5%で昨年より3.8%増加となった。

令和3年度介護報酬改定では、お世話型介護から科学的介護（自立支援介護）への移行を進めるべく、自立支援介護合同トレーニング研修に取り組み介護の基本ケアと言われる「水分・食事・排泄・運動」のケアについて理論を学び、それを実践することで、利用者のADL改善と生活の質の向上を目指し取り組みを開始した。

また、新型コロナウイルス感染症対策としてはご家族、関係取引先へ面会や入館制限を実施し、各種研修会や会議はリモート開催、職域内の行き来も最小限とし、接触の機会を少なくし感染対策を行った。また、職域にて感染対策訓練を継続実施した。

防災対策については、避難訓練や防災教育を実施しながら、消防署立会訓練を実施し、また法人の防災対策会議を開催し、非常災害時や防犯対策についての課題を共有し改善を図っている。

地域貢献事業として、「生計困難者レスキュー事業」に積極的に参加し、西海地区の相談について生活相談員が当法人居宅支援事業所管理者と協働し、相談・支援対応している。

2. 特別養護老人ホームふるさと利用状況

(1) 延入所者数状況 (満床数 25,550 人)

延入所者数は 25,003 人で 累働率は 97.9% うち、延入院者数は 1,342 人で一日 3.7 人、延実利用者数は 23,663 人で平均入所者数 64.8 人

年月日	延入所者数 (在籍者)	延入院者数	延実利用者数 (在籍者－入院者)	対前年比
令和 3 年 4 月	2,093	18	2,075	
令和 3 年 5 月	2,163	46	2,117	
令和 3 年 6 月	2,079	130	1,949	
令和 3 年 7 月	2,170	82	2,088	
令和 3 年 8 月	2,155	102	2,053	
令和 3 年 9 月	2,047	171	1,876	
令和 3 年 10 月	2,131	144	1,989	
令和 3 年 11 月	2,010	148	1,862	
令和 3 年 12 月	2,042	115	1,927	
令和 4 年 1 月	2,076	168	1,908	
令和 4 年 2 月	1,937	98	1,839	
令和 4 年 3 月	2,100	120	1,980	
合 計	25,003	1,342	23,663	25,380
令和 3 年度	稼働率 97.9%	一日平均 3.7 人	平均入所者数 64.8 人	98.5%

(小数点第 2 位四捨五入)

(2) 月別入退所者数の状況

年間入所者数 28 人 退所者数 31 人の内、死亡退所が 22 人、(施設での死亡 16 人内看取りケア実施が 11 人、医療機関での死亡 6 人) 長期入院のための退所が 8 人 在宅復帰 1 名

年月日	一日現在 入所者数	月 内 の 異 動		平均介護度
		入 所	退 所	
令和 3 年 4 月	70	1	1	4.0
令和 3 年 5 月	70	1	2	4.0
令和 3 年 6 月	69	1	0	4.0
令和 3 年 7 月	70	0	0	4.0
令和 3 年 8 月	70	2	4	4.0
令和 3 年 9 月	68	3	2	3.9
令和 3 年 10 月	69	3	4	3.9
令和 3 年 11 月	68	4	5	3.8
令和 3 年 12 月	67	4	5	3.8
令和 4 年 1 月	66	5	2	3.8
令和 4 年 2 月	69	1	1	3.7
令和 4 年 3 月	69	3	5	3.7
合 計		28	31	3.9

(3) 入所申し込みについて

- ・ 令和 3 年度末での入所待機者数 21 人
 内、介護保険施設等に入所中 5 人 医療機関入院中 9 人
 在宅生活 7 人

3. 短期入所生活介護利用状況

延利用者数

介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率%	
令和3年4月	0	0	36	111	131	14	0	292	97.3	
令和3年5月	0	0	36	118	118	12	0	284	91.6	
令和3年6月	0	0	43	110	125	3	11	292	97.3	
令和3年7月	0	0	42	114	128	9	10	303	97.7	
令和3年8月	0	0	41	123	130	0	10	304	98.1	
令和3年9月	0	0	50	103	119	0	10	282	94	
令和3年10月	0	0	57	132	93	0	10	292	94.2	
令和3年11月	0	0	22	130	109	16	10	287	95.7	
令和3年12月	0	0	13	107	108	0	10	238	76.8	
令和4年1月	0	0	21	96	90	4	10	221	71.3	
令和4年2月	0	0	13	115	66	30	10	234	83.6	
令和4年3月	0	0	16	134	56	19	13	238	76.8	
合 計	0	0	390	1,393	1,273	107	104	3,267	89.5	
令和3年度	延利用者数		3,267	一日平均利用者数		9.0人	稼働率		89.5%	

(小数点第2位四捨五入)

※ 令和3度延利用者数状況(満床数3,650人)

年間延べ利用者数は3,267人で、一日平均9.0人で年稼働率は89.5%となり、入所の空室利用は12日

4. 分野別重点計画振り返り

	令和重点取り組み方針	取り組み状況と課題
立 支 援 介 護 型 介 護 実 現 と 利 用 者 満 足 度 向 上	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン実施率 100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の経過記録のチェックの実施（主任・リーダー） ・入所後 2 週間以内に 24 時間シートの作成を担当者が行い、主任～リーダーが確認する。 ・ケアの変更時には 24 時間シート、経過記録に記入する。 ・毎月フロア会議時にケアの統一が出来ているかリーダーが確認を行う。内容を主任へ報告する。 ・モニタリング・ケアカンファレンス、24 時間シートの作成期限を守る。（リーダーに提出） <p>モニタリング 毎月 10 日までに提出</p> <p>ケアカンファレンス終了後に 7 日以内に経過記録の提出、24 時間シートの提出を行う。</p> <p>・ケアプラン修正が必要な時には、フロアリーダーが、主任へ確認後、ケアマネへ報告する。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者状況の情報連携 100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調管理指標の作成を上半期中に行う。 ・毎週主任会議に時に、利用者についての情報交換を行う。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン内容について、毎日勤務者が経過記録を記入し。チェックできている。 ・フロア会議にて、ケアの内容について協議し、全職員へ周知ができている。 ・モニタリング、ケアカンファレンス、24 時間シートの記入提出は計画的にできている。 ・ケアの周知については、ケアカルテの掲示板を使用し周知ができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24 時間シートの内容、活用が難しい。自立支援へ向けた内容を反映し、その方の生活のリズムが見える化するシートの活用を考える。 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康指標を作成し、運用ができた。 ・毎週の主任会議にて、利用者状況（入院者含む）について協議。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康指標の活用と精度を上げる。

	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク評価実施モニタリング 100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーセルインデックスの活用と毎月の事故防止委員会にて利用者ごとのリスク管理を行う。 <p>内容の勉強会実施 8月までに行う。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度 120% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査（利用者・家族） 年2回実施し（4月 10月）取りまとめを行い、対応を検討し、利用者家族に報告を行う。 ・嗜好調査の献立への反映（年2回実施） 調査後、毎月の献立に反映を行う ・余暇活動の充実 年間行事予定を確認し、毎月の行事予定、フロア予定を確認し、実績のモニタリングを主任会議、主任・リーダー会議で行う。 ・ブログの更新 月行事に沿って、7日以内にブログの更新を行う。 ・家族への利用者状態の報告 家族への報告対応の内容を充実する。フロアからの報告写真、内容を十分に検討し、報告を行う ・ウインドウ面会時に利用者や家族の声が聞こえるよう、ワイヤレススピーカーの購入を行い、家族と利用者の満足度につなげる。 ・利用者の立ち上がりに必要なPバーの購入にて自立支援へつなげる。 ・介護職の業務負担へ繋がるパワーリフトの導入を検討する。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク評価表にてリスク評価を実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のリスク評価作成の意識づけ。今後はトルトでのリスク評価も利用し利用者ごとにリスクを考えケアを行う。 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族への毎月の報告（写真）を実施できた。 ・ブログの更新が行事ごとに7日以内の更新はできなかった。 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーリフトの導入検討まで行かなかつたので、業務負担へ繋がるよう次年度検討したい。 ・Pバーや車椅子、チルト式車椅子の購入は行えた。 <p>【課題】</p> <p>業務改善につながる、介護機器の購入やICT機器導入についての検討をすすめていく。</p>
--	---	---

リスクマネジメント	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤薬ゼロ%達成 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止指針、マニュアル整備の実施。 ・事故防止委員会での誤薬、服薬事故発生がないかモニタリングする。 ・服薬時のフローチャートに沿った与薬介助方法の確認をする。 ・毎月の委員会で各職域でのヒヤリハット、事故報告（転倒、転落、誤薬、骨折事故等）のモニタリングを行う。センサーマットの使用状況を確認し、利用者の状態に合った使用となっているか、適切な必要台数整備されているか確認する。劣化もあるため、センサーマットの購入を検討する。 ・効果があった事故対策について共有する。 ・リスクマネジメントの強化として、担当者の設置を行い、毎月の事故防止委員会にて事故報告とその分析、改善策を職員へ周知する。 ・職員に対しての研修の実施を年2回実施する。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各フロアへ服薬時のフローチャートを貼り、服薬その都度に服薬方法を確認できている。 ・毎月の委員会にて事故報告モニタリングを実施し、その都度の事故報告においても、一定期間のモニタリングを実施し再発予防に努めている。 <p>センサーマット・サイドセンサーマット購入し設備面での対策を実施した。</p> <p>【課題】</p> <p>見守りセンサーやカメラの導入で業務負担と事故防止対策へ繋がる機器の導入検討をすすめていく。</p>
-----------	--	---

権利擁護・虐待防止の推進	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケア 0 %達成 ・利用者の声聞き取り調査実施 100% <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止対策を適切に実施するための担当者の設置を行う。 ・虐待防止のための指針を整備する ・高齢者虐待防止の推進の観点から委員会を定期的に開催し、職員へ周知する。 ・虐待防止のための研修を定期的に実施する。 ・研修年 2 回実施のために前月から研修準備に入る。 <p>利用者の声実施計画 2 カ月に 1 回実施する。(偶数月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置 (設置場所 フロア) <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対する適切な言葉使いの徹底。 <p>《目標達成計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対する言葉かけを互いに職員同士が気を付け、確認する ・利用者や家族からの苦情や要望がないか各フロア会議で確認しながら日常ケアや言葉使いについて確認する。 ・苦情や要望の発生時には上司へ報告を上げ、迅速で適切な対応を行い、身体的拘束等適正化検討委員会や主任リーダー会議等で共有する。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケアは年間通してなかつたが、利用者への言葉使いやケア内容については、気にかかるケースはあった。身体的拘束等適正化検討委員会でも利用者に対する言葉使いや不適切ケアへ繋がるグレーゾーンのケアなど研修を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者へ対して不適切ケアつながるケアへの発展していないが、目に見えない部分で言葉使いや対応が不適切である可能性もあるので、職員全員が高齢者虐待や不適切ケアについての研修を重ねること。
--------------	--	---

感染症対策	<p>【目標】</p> <p>全職員で感染症情報の把握と、計画に基づいて感染対策訓練を実施する。</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策訓練計画を 4 月中に作成し、5 月から月 1 回、訓練を実施する。 ・感染症対策委員会の月 1 回の開催にて、感染症情報収集し、各フロアへの周知を行う。 ・感染症対策の研修、訓練（シミュレーション）を計画し実施する。 ・施設掲示板に月 1 回以上、感染症情報を掲示し、全職員へ共有する。 ・フロアの温湿度管理のために、リビングへ加湿器購入を検討し、特に冬場の湿度管理にて、利用者の健康管理を行う。 ・居室を感染対応とした場合に必要な血圧計と体温計の購入を検討する。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の感染対策委員会にて感染症情報の周知や感染対策訓練等も各フロア持ち回りで実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策訓練の実施を継続し経験が少ない職員への対応訓練を広めていく。
-------	--	--

地域と連携した災害対策体制の構築	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態に則した非常災害訓練・研修を計画実行する。 <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成し、計画に沿った訓練実施を行う。 ・法人防災対策会議を開催し、非常災害対策について協議する（開催月：6月、9月、12月、3月） ・法人防災対策会議開催月、災害訓練実施後は災害BCPの検証、見直しを行い、全職員へ周知する。 ・災害用物品の点検及び物品購入の検討。 <p>5月までに点検と物品購入を行う。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害用物品の点検と購入できたが、BCPに沿った訓練実施はできていない。 ・BCP見直しもできていない。 <p>【課題】</p> <p>災害BCPの見直しや更新。訓練で気づいた点や改善点などの見直しが必要。</p>
研修計画	<p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保、育成、定着を図るための教育環境を整備し、人材育成を図る。 <p>《達成計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令に則った機能別の研修や演習計画に沿った、動画研修（Eラーニング）を中心に職員毎の計画的な研修を実施する。 	
地域との交流・貢献	<p>【目標】</p> <p>コロナ禍における、交流や地域貢献を検討する。</p> <p>【達成計画】</p> <p>感染状況を見ながら、地域での交流を検討。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により地域との交流はできていない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人が取り組む自立支援や口腔ケアなど地域の方へのチラシの配布や感染が落ち着けば介護教室の開催など。

施設管理	<p>《目標》</p> <p>施設設備、不良箇所の報告と、速やかな対応を行う。</p> <p>《達成計画》</p> <p>日々の設備点検、確認にて設備不良時の報告を 2 日以内に行い、報告を受けたものは業者への連絡、対応を依頼する。</p> <p>車椅子の備品劣化があるため、車いす（普通型、リクライニング、チルト式）の購入を検討する。</p>	
-------------	--	--

4. 会議・委員会開催状況

- (1) 主任リーダー等 12回
- (2) フロア・ユニット会議 44回
- (3) 入所検討委員会 13回
- (4) 事故防止・事事故例検討会 12回
- (5) 衛生委員会 12回
- (6) 法人苦情解決委員会 1回
- (7) 感染対策委員会 12回
- (8) 身体的拘束等適正化検討委員会 5回
- (9) 広報委員会（法人合同） 4回
- ふるさと便り 178号～180号（4事業所合同） 3回発行
- (10) ケアカンファレンス 12回
モニタリング 12回
- (11) 栄養ケアカンファレンス 12回
- (12) 褥瘡防止委員会 12回
- (13) 給食委員会 9回
- (14) レクリエーション委員会 1回
- (15) 排泄向上委員会 13回
- (16) 防災委員会（法人防火管理者会議） 4回
- (17) 法人事業所連絡会議 12回

6. 施設内研修

- ・新型コロナ対策にて、各職域での研修と E ラーニングでの動画研修、書面閲覧研修を実施した。また、感染症対策訓練として年間計画に沿って、毎月各フロアで実施した。感染症対策の基本である PPE の着脱（ガウンテクニック）訓練は看護職員が指導し、介護職全員を対象に行った。
- ・組織活性化コンサルティング研修を管理者・主任クラスが毎月参加した。
- ・緊急対応訓練については、利用者急変時の対応や医療機器の使用法などについて初動対応と的確な情報収集と報告するスキルアップを目的に研修計画を立て、9回各フロアにて研修を行った。
- ・新任職員研修は7月11月12月3月に実施し、法人理念や福祉概論、介護保険制度の動向、ハラスメントや高齢者虐待防止等の研修を実施した。

7. 福利厚生・労務管理

(1) 健康診断

- ・雇入れ時、5月に全職員、10月夜勤職員を対象に実施。
診断結果について、生活習慣病の傾向が強く、産業医の所見を基に衛生管理者による全職員に細やかな個別面談と衛生教育を実施した。
- ・治療が必要な職員の継続指導を実施している。

(2) ストレスチェック制度

- ・労働安全衛生法第66条規程に基づき、産業医の管理指導のもと、全職員のメンタル面の不調者を未然に防止を目的とした、心理的な負担の程度を把握するため日本マネジメントリサーチに委託し実施。結果については個人面談等を行い、職場環境の診断と改善についての課題を検討した。

(3) メンタルヘルス対策

- ・日本産業カウンセラー協会の支援にて個別カウンセリング（リモート）を実施した。

7. 感染症予防対策

長崎西彼保健所より、最新の感染発症動向調査を情報収集し、嘱託医指導管理の下、感染対策委員会での周知、予防対策、労務管理に努めた。

(1) 健康診断・美化衛生

- ・ 8月31日に長崎健康事業団による全利用者の結核健康診断を実施。毎月の業者による害虫駆除と及び職員による清掃チェックを実施した。

(2) インフルエンザ予防対策

11月に利用者及び職員のインフルエンザ予防接種を実施した。

(3) 新型コロナウイルス感染症予防対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、面会制限を継続し、法人の面会基準に基づき対応し基準についてホームページにおいて公表している。取引業者については入館チェックシートの記入、検温測定、手指消毒の徹底を実施。また、随時リモート面会の受付は行い、希望者へはリモート面会を実施。
- ・ 法人において「新型コロナウイルス感染症事業継続計画」を策定し、感染症の発生予防と発生した場合に備えた職員の対応や動きについて計画を策定し、そのBCPに沿った訓練を実施している。
- ・ ワクチン接種については、6月（1回目）7月（2回目）2月（3回目）に利用者、職員の希望者に嘱託医の協力を得て接種を行った。

8. 誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト

- ・ クロスケアデンタルと連携し、正しい口腔ケアの指導のもと「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」に取り組みを継続し、介護スタッフが正しい口腔ケアの知識、技術を習得し、誤嚥性肺炎の予防に努めている。
- ・ 每月1回の口腔ケア委員会をリモートで開催し、口腔ケアの実施状況や課題を共有し、個別のケア方法や対応について協議している。
- ・ 各事業所よりリーダークラスから中級、上級セミナーに受講し、確認テストを経て中級8名、上級1名の合格者がでている。
- ・ 7月、10月、3月に歯科医・歯科衛生士によるO.H.A.T評価を実施。

9. 防災対策

(1) 防災訓練

- ・避難訓練（夜間想定訓練も含む） 4回

消防訓練 1回（11月に消防署署員指導にて予定していたが、雨天のため中止）

防災教育 5回（今年度よりeラーニングでの防災教育も実施）

- ・総合訓練 2回（11月8日・3月16日）

新型コロナウイルス感染症流行にて11月のみ佐世保東消防署西彼出張所立ち会いの基、訓練を実施。

- ・一斉メール（10月21日、3月20日）

新型コロナウイルス感染症流行にて夜間出動訓練は見合わせ、一斉メールのテスト配信を行い緊急時の整備を行った。

- ・消防設備点検立ち入り調査（7月11日）

新型コロナウイルス感染症対策にてFAXにて調査票を送付。

- ・地域連携協力会議（12月9日）

法人ふるさと地域連携協力会議を開催。法人役員、西海町川内地区連絡区長及び、駐在員（地区連絡員）佐世保東消防署西彼出張所、川内地区消防団、西海警察署横瀬駐在所、行政（西海市長、西海総合支所長）施設職員等で防災対策会議を開催。消防署より防災教育を受け、法人施設における防災設備、利用者の状況、防災訓練の年間計画等について説明し、意見交換を行うとともに非常事態時の協力要請を行った。

- ・災害訓練（6月、9月、12月）

停電時における初動対応や災害用備品の点検、自家発電の手動操作等について確認を行った。

(2) 防犯対策

- ・防犯訓練（5月、8月、1月）

手順書を基に不審者侵入時の対応やさすまたを使用した訓練を実施。

8月の防犯訓練後、手順書の見直しを行った。

10. 地域貢献

- ・ レスキュー事業
 - ・ 西彼・西海ブロックの CSW 設置法人として生活相談員・当法人居宅支援事業所管理者と連携し生計困難者レスキュー事業を継続実施。
 - ・ 1月 21 日に西彼・西海地区のブロック会議を開催予定であったが、新型コロナ感染流行のため、中止し、2月 9 日に「生計困難者レスキュー事業全体会議」において、西彼・西海地区ブロック会議が開催となり、參加した。
 - ・ 昨年度末から引き続いた事例について、1件直接対応を実施。

11. 行事

- (1) 9月 20 日 ふるさと敬老会 法人各事業所ごとに実施
- (2) 9月 利用者アンケート実施
 - 8月 11 日・10月 14 日
オンラインギターコンサート（山口修様・純子様）
 - 11月 11 日 ゲーム大会
 - 12月 15 日 クリスマオンラインスコンサート（山口修様・純子様）
- (3) 誕生会毎月各フロアにて実施
- (4) レクリエーション
 - コロナ禍で、フロア間の移動もままならない状況であったが、季節のメニューに応じた食事会（お楽しみ献立）や、各フロアでの調理レク（おやつ作り）リハビリを兼ねての野菜作り、園芸、誕生会を実施した。また、各フロアにてレク活動やゲーム大会を実施。

12. 施設見学及び入所相談

- ・ 入所相談・施設見学（個人）3件

令和3年度事業報告「居宅介護支援センターふるさと」

1. 事業概況

地域包括ケアシステムの推進にあわせ、居宅介護支援事業所として、住み慣れた地域で暮らす要支援・要介護者にたいして、在宅にて自立した生活が継続できるようにケアマネ二体制を取りケアプランを作成し、サービス展開を実施している。

また、社会福祉法人の地域貢献事業として、福祉事業や介護保険制度への疑問や超高齢化社会に伴う「認知症の増加」での対応について、「介護教室」や、地域の老人会等が実施している「生き生き体操」等へ出向き、介護予防の重要性や自立支援について話し合い等へ参加予定していたが、新型コロナ感染症拡大にて地域へ出向いての、地域の問題点等の意見を聞く機会は開催できなかったため、電話等での相談支援は実施できた。さらに、今年度も生活困難者レスキュー事業へ取り組みを特養相談員と一緒に実施した。また、法人役員として地域密着型事業所の施設長として、「身体拘束に繋がる不適切ケア」一掃を目的とした「認知症の理解と対応」について指導・指示を行っている。

また、新型コロナウイルス感染対策についても、終息が見込まれない状況なので、利用者・家族へその都度状況報告し、感染予防の協力をお願いしている。

2. 利用状況

月別	介護予防利用者	介護支援利用者	計
R03・4月	5人	41人	46人
5月	6人	41人	47人
6月	8人	42人	50人
7月	7人	42人	49人
8月	8人	45人	53人
9月	8人	44人	52人
10月	8人	46人	54人
11月	11人	46人	57人
12月	12人	47人	59人
R04・1月	10人	52人	62人
2月	10人	51人	61人
3月	10人	49人	59人
合計	103人	546人	649人

※ 月平均 介護 $546 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 45.5 \text{ 人}$

予防 $103 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 8.5 \text{ 人}$

計 $649 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 54.1 \text{ 人}$

※ 居宅介護支援利用者については、在宅での支援が困難になった場合に、利用者の状況

を専門職連携を行い検討して、病院・法人施設への紹介を行っているので、利用者の変動がある。

3. 活動状況

(1) 介護認定訪問調査

令和3年度は新型コロナ感染症の終息見込みは見られない中でも、長崎市からの施設入所者へ対しての調査があり11件・諫早市より1件の合計12件の調査を実施する
令和3年度介護認定訪問調査員現任研修オンライン研修 3月7日受講

※ 西海市介護認定審査会へ福祉専門員として委託受け年6ヶ月審査会へ出席
事業所でのリモート審査会（7月より9月まで 1月から3月まで）

(2) 地域住民への介護教室

令和3年度は新型コロナ感染症の拡大にて地域開催の会議や老人クラブ主催の「生き生き体操」等も蜜を避けての少人数で集まり開催の為に、地域からの依頼等なかった。
又、法人としても、感染予防対策の観点から、不特定多数の方との集まりの場への参加の自粛で、居宅としても参加を控えた面もある。

(3) 地域ケア会議

包括支援センター主催の地自立支援型個別地域ケア会議(6月)事例を提出し介護予防利用者の支援について多職種連携会議へ参加する。また、予防利用者・地域情報等での意見交換はその都度地域包括支援センター担当者と連携を行う。地域ケア会議全体会議がオンラインで開催され参加し、多職種連携・地域の情報収集が出来た。

(4) 施設外研修会について

新型コロナ感染症の全国的な拡大に伴う更新研修については、1年間延期の猶予にて主任介護支援専門員更新研修(10・12月)・介護支援専門員更新研修(6・7月)に参加し更新研修を無事修了する。

福祉避難所設置運営実務者研修（9月・1月）オンライン・県庁にて受講
長崎県介護支援専門員連絡協議会西海支部研修会・役員会への参加 年4回

(5) 法人事業所内研修

コンサルティング研修会 10回

自立支援介護実践研修 12回

地域密着型全体会議 各施設にて 12回

新型コロナ感染対策オンライン研修 3回

法人経営会議 毎週月曜日

地域密着型管理者会議 毎週火曜日開催

地域密着型運営推進会議の開催 3施設 年6回

(6) 法人介護支援専門員連絡会議

法人の介護支援専門員の質の向上のために会議の開催を2ヶ月に1回程度予定をしていたが、コロナ禍で開催はできなかった。居宅事業所としては、新規の相談時、モニタリングでのプラン変更時にその都度協議し、本人の自立へ向けたサービス計画作成に繋がるよう検討会は実施出来た。

(7) 生活困難者レスキュー事業

昨年までは西海・西彼地区幹事法人として在宅で生活に困窮されている、2件の相談を受け付けて登録法人・西海市社会福祉協議会への引き継ぎや、自宅を訪問し直接支援を行った。本年度より幹事法人をブロック会議にて2年ごと各事業所が実施することになったが、幹事法人より、その都度相談受け事業所を訪問して支援への対処やブロック会議等の開催等の打ち合わせを実施する。又、県の全体会議でのブロック会議へ参加して、市内の情報共有を行う。

(8) 地域連携協力会議

社会福祉法人として地域貢献の為に、法人施設の防災・防火に対して取り組みや設備等の説明・意見交換を地域・行政・消防・警察等参加で地域連携協力会議を12月に開催した。有事の際の施設機能の役割等を地域と共に共有し、法人より地域に対しての協力と貢献内容等の説明を実施する。

又、災害発生時の福祉避難所設置運営の研修会へも参加し、行政と一緒に地域住民の安心・安全な暮らしの確保のための福祉避難所設置マニュアルを作成し受け入れ準備を実施している。

尚、行政より依頼があった、避難行動要支援者の西海市個別避難計画書の説明を居宅として担当している利用者へ記入要綱・代理記入等を実施し本人・家族へ同意説明を実施している。

(9) 法人防犯対策訓練

不審者の対応訓練等を実施については、各事業所での訓練への参加。ケアマネとして在宅訪問した際は、利用者の生活状況を聞く際に不審電話等での被害を受けないようにその都度情報の提示を行い、安心・安全に暮らせるように説明を行っている。

4. 分野別重点計画振り返り

	令和3年度：目標と達成計画	令和3年度：取り組み状況と課題
自立支援介護	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 居宅介護支援利用者 50 名の登録（ケアマネ 2 人体制） ② 居宅支援加算取得を 100% 実施 ③ ケアプラン更新率を 100% 実施 ④ 毎月の給付管理票 100% 実施と返戻ゼロ <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 4 半期ごと(6 月・9 月・12 月・3 月)利用者 3 ~6 名を登録しサービス支援実施 1 ヶ月 1~2 名の新規利用者登録を実施し、毎週の経営会議で報告する。 新規利用者登録の為に包括・社協・病院・施設担当者との情報交換を毎 週月曜日に実施し記録する。 登録している利用者が入院されている場合は、病院担当者・家族と連絡を密に取り、毎週の経営会議で状況報告行う。 ② 居宅支援加算について初期加算・入院・退院連携加算・特定事業所加算(A)・医療機関との情報連携強化加算・介護予防支援充実加算を 100% 取得 ③ ・ケアマネジメント実践の点検表を作成し毎月 10 日確認実施 ・利用者の介護認定更新者の確認を月初めに実施し更新漏れを防ぐ ・モニタリング計画表を作成し、毎月 1 回の確認。モニタリングでの利用者変化があれば、5 日以内に担当者会議を実施しプランの変更実施 ・サービス評価一覧表での確認を 100% 実施を行う。 ④ ・毎月 5 日までに実績確認。7 日には給付管理票作成。8 日国保請求担当者の総務主任へ提出準備報告とて請求依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 居宅介護支援利用者 50 名の登録（ケアマネ 2 人体制） <ul style="list-style-type: none"> ・居宅サービス利用登録は介護・予防合わせ 60 を超え目標達成が出来た。今後も地域からの情報・社協・包括・病院等の連携を取り、地域へ根差したケアマネジメント業務を実施する。 ② 居宅支援加算取得を 100% 実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新規の利用者の初期加算・入院情報連携等の加算取得は実施できた。今後も継続し情報交換に努め加算取得を実施する。 ③ ケアプラン更新率を 100% 実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの更新については、担当者会議・モニタリングの実施で利用者本位・自立支援のプランの更新を実施した。 ④ 毎月の給付管理票 100% 実施と返戻ゼロ <ul style="list-style-type: none"> ・毎月 5 日までに給付管理票を作成しチェックを行い、7 日には国保請求事務担当者へ連絡し返戻の確認と訂正実施。8 日には国保請求担当の総務主任へ明細書・給付管理票を提出は実施できた。今後も毎月 9 日の国保請求に支障が内容に請求事務を実施する。

<p>リスクマネジメント</p>	<p>【目標】 ① 居宅登録者の安心・安全確認 100%実施 【達成計画】 ・サービス計画に位置付けた、サービス利用が確実に実施されているか在宅訪問し確認する。又、自宅で自立して生活を送るリハビリが確実に実施できているか、通所担当者・リハビリ担当者・福祉用具担当者との情報交換を実施し、自宅での事故予防対策を実施する。 ・地域の中で生活する利用者が有事の際に地域より取り残されないように、地域住民への情報提供を実施し、協力依頼を実施する。</p>	<p>① 居宅登録者の安心・安全確認 100%実施 ・ケアマネジメント業務での在宅訪問を 2 回以上実施しモニタリングを実施する中で状態に応じて本人・家族を交えたサービス事業所との担当者会議を開催し、リハビリ強化・住宅改修・福祉用具貸与等の検討を行い、自宅で不安なく自立した生活が行えるようにプラン変更での事故防止を実施できた。 ・居宅登録利用者独居で生活されている利用者家族へは了解を得て、民生委員や地域の方へ有事の際の連絡等の依頼を実施できた。</p>
<p>権利擁護・虐待防止の推進</p>	<p>【目標】 ① 在宅での高齢者の虐待や身体拘束事案ゼロを目指す 【達成計画】 ・家族の介護負担への相談援助を実施し、虐待や身体拘束についても、充分な説明を行う。 ・専門職と協議する地域ケア会議等へ事例を提供し、課題の解決に繋げる。</p>	<p>① 在宅での高齢者の虐待や身体拘束事案ゼロを目指す ・家族の介護負担への相談援助を実施し、虐待や身体拘束についても、充分な説明を行う。 ・専門職と協議する地域ケア会議等へ事例の提供を実施した。</p>
<p>感染症対策</p>	<p>【目標】 ① 法人で実施の感染対策訓練 100%参加 ② 法人内で開催される感染症対策研修会 100%参加 【達成計画】 ・福祉施設職員として感染症対策のゾーニング訓練等へ参加し、地域で暮らす利用者や住民へ対しても感染予防の指導を行う。 ・年間研修計画を作成し毎月 1 回の研修と訓練へ参加する ・介護保険サービス事業所・病院との連携との情報交換を毎週実施と地域の状況確認を実施し、法人内で共有する。</p>	<p>・福祉施設職員として感染症対策についてはグループホーム事業所の訓練・研修会に参加を行った。 ・在宅訪問を行った際には、利用者・家族へ対して感染予防対策の説明も実施できた。又、新型コロナ感染拡大での訪問の際には感染対策(マスク・手指消毒・1.5m距離)を十分取り対応実施。 ・病院・サービス事業所への訪問は極力控え電話・リモート・ファックス等での情報交換を実施し、感染対策をしっかりと取った行動は出来ている。 ・又、地域・病院・事業所等での感染状況や対策については、随時法人本部へ報告を行う。</p>

地域と連携した災害対策体制の構築	<p>【目標】</p> <p>①法人施設がある地域の住民への協力依頼 100%実施 ②法人で開催の地域防災会議への参加 100% ③法人施設の災害時福祉避難所情報を地域へ提供 100%</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人で行う地域防災連携会議へ参加し独居生活者や高齢者世帯の情報を聞き、緊急時の対応をその場で検討し対応実施する。 ・地域役員・消防関係者への情報提供を実施し訓練等への参加を呼びかけ合同訓練の実施。 ・災害時に要援護者の避難所としてサポートセンターの受け入れ態勢構築 	<p>①法人施設がある地域の住民への協力依頼 100%実施 ②法人で開催の地域防災会議への参加 100% ③法人施設の災害時福祉避難所情報を地域へ提供 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人で行う地域防災連携会議へ参加し独居生活者や高齢者世帯の情報を聞き、緊急時の対応をその場で検討し対応実施できた。又、福祉避難所設置運営研修会へ参加し、災害時の法人としての役割と位置づけを行政と協議中である。 ・地域役員・消防関係者への情報提供を実施し訓練等への参加を呼びかけ合同訓練はコロナ禍にて開催が出来なかった。
研修計画	<p>【目標】</p> <p>①法人内での年間研修計画へ参加し質と知識の向上を 100%図る ②介護報酬改定に伴う法令の理解 100% ③地域ケア会議参加しケアマネの質を高める。</p> <p>【達成計画】 別紙年間研修計画・職員別計画に添って</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修計画に添ってケアマネの質向上を図り、利用者の暮らしが豊かになるように情報伝達を行う。 ・令和 3 年 4 月の介護報酬改定に伴う法令の理解を行い利用者・家族への説明を実施する。 ・情報収集とケアマネとしての質の向上のために地域ケア会議参加を行う。 ・困難事例が発生した場合は、個別ケア会議を開催し早期解決を図る。 	<p>①法人内での年間研修計画へ参加し質と知識の向上を 100%図る ②介護報酬改定に伴う法令の理解 100% ③地域ケア会議参加しケアマネの質を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修計画に添ってケアマネの質向上を図り、利用者の暮らしが豊かになるように情報伝達を行う事はできた。 ・令和 3 年 4 月の介護報酬改定に伴う法令の理解を行い利用者・家族への説明を実施した。 ・情報収集とケアマネとしての質の向上のために地域ケア会議参加を行った。 又、困難事例ではないが、多職種連携しての事例検討会への

地域との交流・貢献	[目標]	
	①介護報酬改定に伴う説明会を地域で実施 100%	① 介護報酬改定に伴う説明会を地域で実施 100%
	②法人内での感染症対策等について説明会 実施 100%	・コロナ禍でも地域で開催される会議へ参加し施設利用料等の改定について説明会を実施することは困難であったが、電話等での問い合わせで説明を行った。
	③防災・防犯等訓練を法人施設・地域で実施 100%	② 法人内での感染症対策等について説明会 実施 100%
	[達成計画]	・上記の地域会議前に地区の役員との感染対策会議を実施することはできなかったが、その都度地域住民への説明は実施した。
	①コロナ禍でも地域で開催される会議へ参加し施設利用料等の改定について説明会を実施する。	③ 防災・防犯等訓練を法人施設・地域で実施 100%
	②上記の地域会議前に地区の役員との感染 対策会議を実施する	・防災・防犯について地区への会議へ参加し法人で実施の訓練の説明や地区合同の訓練計画作成し実施することはできなかった。
	③防災・防犯について地区への会議へ参加し、法人で実施の訓練の説明や地区合同の訓練計画作成し実施する。	

2. 目標稼働率

年間契約者数	720 名	649 人	
介護 (月 30×2)	60 名	546 人	75.8%
予防 (月 5×2)	10 名	103 人	85.8%
延べ実利用者数		649 人	77.3%

介護 ケアマネ一人当たり 30 名

予防 5 名

令和3年度事業報告「グループホームふるさと」

令和3年度の「グループホームふるさと」の事業について、次のとおり報告いたします。

1. 令和3年度活動概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かしたレクリエーションや生活リハビリ、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

令和3年度は、昨年に比べ入退院者が少なく、実稼働率が98.9%と目標の98%と達成出来た。延べ入院者数及び外泊者数60人で前年（125人）と比べると入院者が半分程度に減少した。

新型コロナウィルス感染症の影響にて今年度も感染対策訓練やリモートでの会議、研修を開催した。事業所としては、感染予防対策の徹底、感染予防対策訓練を行い利用者様、職員とも感染者を出すことがなかった。今後の課題として、面会制限が続く事が考えられる。面会方法については、今後も状況に合わせた面会方法を実施し、ご家族、利用者様の安心・喜びに繋げられるような工夫を全職員で検討していく必要がある。

令和3年度の運営推進会議については、新型コロナウィルス感染拡大防止対策として、6回中3回は書面にて（文書審議・電話での意見聴取）にて開催した。

2. 利用状況

項目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,570名	6,570名		
年間延べ利用者数	6,558名	6,555名	100.05%	↑
延べ入院・外泊日数	60日	125日	48%	↓
年間延べ実利用者数	6,498名	6,423名	101.17%	↑
実稼働率	98.9%	97.2%	101.75%	↑
延べ未契約日数	12日	15日	80%	↓
平均介護度	1.8	1.8		

3. 入退所状況

	種 別	人 数	備 考
R3年9月	退 所	1名	特養入所の為
R3年9月	入 所	1名	真珠園より
R3年9月	退 所	1名	特養入所の為
R3年9月	入 所	1名	自宅より
R3年10月	退 所	1名	死亡（病院にて）
R3年10月	入 所	1名	自宅より
R3年11月	退 所	1名	長期入院・治療が必要な為
R3年10月	入 所	1名	支援ハウスより
R3年10月	退 所	1名	長期入院・治療が必要な為
R3年10月	入 所	1名	他の施設より

○ 入所者総数：5名

○ 退所者総数：5名

4. 分野別重点計画振り返り

	令和3年度：目標と目標達成計画 (予算組み必要であれば計上)	取り組み状況と課題
自立支援型介護実現と利用者満足度向上	<p>『目標』</p> <ul style="list-style-type: none"> ①稼働率98%達成 ②入院率2%達成 ③24時間シートを作成し、職員がそれに沿った支援を行える <p>『計画』</p> <ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の毎週の健康状態を月曜日の午前8:30分までに施設長へ提出 ・毎日のミーティング(13:00~)にて、利用者様の状態を100%共有する。 ・入居待機者の把握を100%し、退所後5日以内に契約し入所 ② <ul style="list-style-type: none"> ・入院後1週間毎に病院、家族へ状態確認の電話連絡を行う。 ・退院後の支援についてユニット内で協議し支援方法、必要物品の準備を行い、早期退院へ繋げる。 ・口腔ケア(OHAT)を週2回実施。肺炎予防と食欲増進で健康を保つ ③ <ul style="list-style-type: none"> ・各担当職員が利用者様の24時間シートを作成する。(1ヶ月1人) ・管理者、ケアマネ、計画作成がチェックを行う。 ・24時間シートを見て全職員が把握する。それに沿った支援を行う ・更新時、変更時には再度見直し、修正等を行う 	<p>『取り組み状況』</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 稼働率98.9% <p>毎日のミーティングにて利用者様の状態を職員で共有する事が出来ていた。異常があった際には早期受診等にて対応出来ていた。</p> <p>・利用者様の毎週の健康状態の報告は出来ていた毎日のミーティングにて利用者様の状態を共有できた。</p> <p>②入院率1%</p> <p>入院後は1週間おきに連絡し医師、看護師、家族と状態を共有することが出来た。</p> <p>・口腔ケアについては概ね週2回実施出来ている。抵抗がある方については、週2回実施出来ていない時あり。今後も実施出来るよう職員で検討していく</p> <p>③24時間シートについては、今後も見直し、修正、新規作成していく</p>

リスクマネジメント	<p>《目標》</p> <p>① ヒヤリハット件数毎月提出し、集計、分析を行い事故防止に努める</p> <p>《計画》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人毎日1件以上はヒヤリハットを提出 ・グループホーム会議（毎月第4水曜日）の中で、ユニット毎に検証、分析を行う。 	<p>《取り組み状況》</p> <p>①毎月60～70件程度の提出でした。ヒヤリハットを基にユニット会議等にて検証対応策の立案等出来た。</p> <p>・事故発生時、出勤職員にて検証、対策会議が実施出来た。行政に5日以内には提出し報告も出来た。</p>
権利擁護・虐待防止の推進	<p>《目標》</p> <p>①不適切ケア0%達成 ②身体拘束0%達成</p> <p>《計画》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング時（13：00～）該当するような事例がなかったか協議する。 ・グループホーム会議（毎月第4水曜日）の中で協議する。年に最低2回は研修会を実施 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング時（13：00～）該当するような事例がなかったか協議する。 ・グループホーム会議（毎月第4水曜日）の中で協議する。年に最低2回は研修会を実施 	<p>《取り組み状況》</p> <p>①不適切ケア0%に向け毎月会議実施出来た ②身体拘束0%に向け毎月会議実施出来た</p> <p>・毎日のミーティングの中でも隨時該当するような事案等なかったか協議出来た</p> <p>・「利用者様の声」の対応は出来た。しかし、毎月同じ利用者様からの声が多くった。今後は、毎月全利用者様の声を聞きだせるようにしていきたい。</p>

感染症対策	<p>《目標》</p> <p>① B C Pに沿って感染症対策訓練を毎月実施する。</p> <p>《計画》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画訓練を立て実施。(毎月第2、4木曜日実施。看護師も参加する) ・感染症防止、予防に対する年間研修を実施。(年に最低2回は実施する。) ・物品管理表を作成し、使用後は管理者、リーダーにて補充していく。 	<p>《取り組み状況》</p> <p>①ゾーニング訓練、ガウンテクニック訓練実施出来た。しかし、職員の急な休み等にて日程変更になり月末に実施したり、翌月に2回実施した。</p> <p>・食中毒やノロウイルス等、感染症の研修会は看護師主体のもと勉強会実施出来た。</p> <p>・必要物品等については、在庫チェック表記載にて足りなくなる前に補充等も出来た</p>
地域と連携した災害対策体制の構築	<p>《目標》</p> <p>① B C Pに沿って災害訓練を実施</p> <p>②非常用発電機の月1回の作動訓練</p> <p>《計画》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画訓練を立て実施。 ・運営推進会議にて年に1回は、消防署立ち会いのもと地元消防団と合同訓練を行い、運営推進委員も参加していただく。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作手順書に沿って毎月3週目に訓練を実施し全職員が操作できるようになる 	<p>《取り組み状況》</p> <p>①B C Pに沿っての災害訓練が出来なかつた。非常食を職員、利用者様で試食し検討した。</p> <p>・避難訓練は毎月実施出来た。</p> <p>② 非常用発電機は2ヶ月に1回作動訓練をおこなった。</p>
研修計画	<p>《目標》</p> <p>① 法人研修にあわせて参加する。毎月第4水曜日のグループホーム会議内で研修会を実施する。</p> <p>《計画》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会1週間前には起案書を作成し、全職員回覧する。(参加名簿作成) ・研修会に参加出来なかった職員は、後日動画研修や、議事録の確認をする 	<p>《取り組み状況》</p> <p>① 年間計画に沿ってG H会議にて研修会実施した。研修会に参加していない職員は議事録を確認した。</p> <p>・e ラーニング研修は、視聴できた。途中遅れている方がいたので職員同士声を掛け合いながら視聴を勧めた。</p>

地域との交流・貢献	<p>《目標》</p> <p>①地域の保育所との交流</p> <p>《計画》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの行事の写真や手紙にて、保育園児とのやりとりが出来る。 ・野菜の収穫の写真や育てた花の写真を添えて利用者様に手紙を書いていただく。収穫した野菜や育てた花と一緒に贈れたらいい。やりとりが出来たらいいと思います。 	<p>《取り組み状況》</p> <p>①コロナ禍にて地域の方々と交流やイベント等に参加出来なかつた。施設周辺の散歩、日光浴をおこなつた。</p> <p>・コロナ禍にて、どういった交流が出来るのか検討していく事が必要</p>
	<p>《目標》</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達で出来るような修理、修繕は施設長に教わり、自分達で修理、修繕が出来る <p>《計画》</p> <p>1、施設敷地、建物管理者（男性職員）が毎月1回の点検、日々の点検を行う。</p> <p>2、老朽化、不具合の箇所があったら管理者へその都度報告し補修、修理をおこなっていく。外注する場合は、施設長、法人本部へ連絡する。</p>	<p>《取り組み状況》</p> <p>①修理、修繕は出来る限り職員でおこなつた。施設長にも確認しながら行えた。</p> <p>・建物の管理は概ね出来たが、施設外の街灯等の確認が不足しており電気が切れている事があった。日々の点検として組み込んでいく</p>

5. 入所者状況（令和3年3月31日現在）

入居人数	18名 (男性／3名 女性／15名)	
要介護区分 (平均介護度：1.8)		
要支援2 (0名)	要介護1 (9名)	要介護2 (5名)
要介護3 (3名)	要介護4 (1名)	要介護5 (0名)
年齢 平均 90.8歳 (最低／77歳) (最高／102歳)		

6. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1名	西海市職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市社協	1名
施 設	・理事長・統括施設長 ・ひなげし棟管理者・すずらん棟管理者			4人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月 12 日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度目標計画 ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動状況 ・意見交換（書面にて）
第2回	7月 14 日	グループホーム ふるさと	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止訓練 (ゾーニング・ガウンテクニック) ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動報告 ・意見交換
第3回	9月 17 日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援介護について ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動報告 ・意見交換（文書による）
第4回	11月 24 日	グループホーム ふるさと	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で話し合う項目についての協議（外部評価について） ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動報告 ・意見交換
第5回	3月 10 日	特別養護老人 ホーム ふるさと	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価について ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動報告 ・意見交換
第6回	3月 30 日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価結果報告・令和4年度目標達成計画について ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動報告 ・意見交換（文書による）

7. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
主な月別行事（上記月例行事を除く）			
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶話会 ・ 野菜植え ・ 花まつり 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策訓練（毎月 1回） ・ 自家発電動作訓練（2か月に1回）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母の日茶話会 ・ こどもの日茶話会 ・ 菖蒲湯 ・ ちまきづくり ・ 漬物作り 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品作り ・ 秋祭り
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父の日茶話会 ・ 園芸 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマスコンサート（リモート） ・ クリスマス会 ・ 干し柿作り ・ 餅つき
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕茶話会 ・ 作品作り ・ スイカ割り ・ 野菜の収穫 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年祝賀会 ・ 鬼火 ・ 鏡開き
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモートコンサート ・ グループホーム 夏祭り ・ 牡丹餅作り 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分豆まき会（恵方巻） ・ バレンタインデーおやつ作り
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会リハーサル（リモート） ・ 敬老演芸会（リモート） 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中庭ランチ ・ ひな祭り茶話会 ・ ドライブ（七ツ釜、水ノ浦公園）

8. 会議・研修会 開催状況

(1) グループホーム会議	10回
令和3年度	研修内容
5月	自立支援介護について
6月	感染症について（食中毒予防とまん延防止）
7月	リスクマネジメント（危険予知トレーニング）
8月	① 認知症について（4大認知症疾患の特徴） ①身体拘束
9月	①高齢者虐待
10月	外部評価について
11月	② 身体拘束
12月	感染症について（インフルエンザ予防とまん延防止 ノロウイルス予防とまん延防止）
1月	② 認知症について（ユマニチュード）
3月	②高齢者虐待について
(2) ユニット会議	10回
(3) 火災訓練（避難訓練）	12回
(4) 防災（非常用自家発電機動作訓練）	6回
(5) 感染対策訓練（ガウンテクニック・ゾーニング訓練）	12回

9. 研修参加状況

【法人内研修】

- ・ 事業所連絡会議 12回
- ・ 口腔ケア委員会 12回
- ・ 自立支援トレーニング研修 11回

【運営推進会議を活用した外部評価】

昨年まで、外部評価は外部評価機構に委託し受講していましたが、今年度の法改定により認知症グループホームは、運営基準における「第三者による評価」について運営会議を活用した評価が出来るようになりました。グループホームふるさとでは、今年度より、運営推進会議を活用した外部評価を行いました。全職員に自己評価を実施し、自分達の1年間の活動状況や反省点を再確認しました。コロナ禍での開催となり、利用者様の居住空間の出入りを中止し、必要書類の他に写真や追加の資料を準備し評価して頂きました。受講後、結果内容を全職員へ周知し、G H会議にて令和4年度の目標達成計画を全職員で決めています。

令和4年3月24日、西海市へ外部評価結果報告書類を提出し受理して頂く。

https://furusato-saikai.jp/group01_b.html (ホームページにて閲覧可)

<https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/> (ワムネットにて閲覧可)

令和3年度事業報告「第2グループホームふるさと」

令和3年度の「第2グループホームふるさと」の事業について、次のとおり報告いたします。

1. 令和3年度活動概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かした生活支援や、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

本年度の実稼働率は94.4%と目標の98%を達成する事が出来なかつた。要因として延べ入院者数及び外泊者数が310人と前年（268人）と比べ増加となり、心不全や肺炎による長期入院が主な理由となる。

昨年同様に、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、ご家族協力の基、リモート面会やウインドウ面会、電話連絡等実施し本人様やご家族共にご協力頂いた。また、職員については感染対策の研修会や対応、対策の訓練を実施した。更に職員、各自のスマートフォンを利用したNチャットを利用した健康管理を実施した。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を年6回開催(内3回は書面審議)した。

地域との交流においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人との接触を避け、利用者様の出身地に出掛け、馴染みのある風景を感じて頂ける事で自然に笑顔になり喜んで頂いた。

2. 利用状況

項目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6, 570名	6, 570名	—	—
年間延べ利用者数	6, 509名	6, 514名	99.9%	↓
延べ入院・外泊日数	310日	268日	115.6%	↑
年間延べ実利用者数	6, 199名	6, 246名	99.2%	↓
実稼働率	94.4%	95.1%	99.3%	↓
延べ未契約日数	61日	56日	108.9%	↑
平均介護度	1.9	2.3	—	↓

3. 入退所状況

月日	種別	人数	備 考
4月	入所	1名	自宅より
	退所	1名	長期入院の為
6月	入所	1名	自宅より
	退所	1名	長期入院の為
10月	退所	1名	特養へ転所
11月	入所	2名	自宅より
	退所	1名	特養へ転所
1月	退所	1名	特養へ転所
2月	入所	2名	自宅、病院より
	退所	2名	長期入院、特養転所の為
3月	入所	1名	自宅より
	退所	1名	特養転所の為

○ 入所者総数：7名

○ 退所者総数：8名

4. 分野別重点計画振り返り

	R3 年度；目標と目標達成計画 (予算組み必要であれば計上)	R3 年度；取り組み状況と課題
自立支援介護の現実と利用者満足度向上	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①稼働率を 98%達成する ②入院率 2%達成する ③利用者満足度 120%達成する <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療連携にて利用者の健康状態を毎週月曜日に報告する(1W 分)・利用者様の健康状態の報告を永野施設長に毎週月曜日に報告する ②-1 退所が決まつたら、その後、5 日以内に次の入所が出来る様に施設長確認後、必要手順にて満床を目指す。・入院後、10 日毎に病院、ご家族への状態確認 ②-2 入院の際は週 1 回(月～水曜日までの出勤時)、病院、家族へ連絡を取り、現在の状態について把握し、早期退院に向けて調整を行う ②-3 重点的口腔ケアを週 2 回実施し誤嚥性肺炎を防ぐ ③センター方式 C-1(私の姿)、24H の情報を基にケアプランに随時反映していく 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①稼働率 95% ・医療連携について看護職を中心に実施し、介護職と連携取れており、緊急時にも対応できた。 毎週月曜日に看護師と連携し全利用者の健康状態について留意する部分も含め報告実施した。 ②入院率 2% ・退所が決まつた時点にて次期入所者の情報を確認し連絡行い早期入所に繋がるように努めた。 利用者入院中も、医師やご家族と連絡を密にし、本人様の状態を確認、早期退院出来るよう努めた。 ・週 2 回の重点的口腔ケア実施し誤嚥性肺炎防止実施出来た。 ③利用者満足度 120%達成 ・24hシートを基にしてケアプランへ反映させていた。センター方式 C-1(私の姿)は出来なかった。 担当者へ作成を促し作成しケアプランへ反映させてていきたい

リスクマネジメント	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ヒヤリハットの重要性を全職員理解し、同じヒヤリハットでも提出する事で同じ事例であっても早期に対応でき、事故防止に繋がる、又、意識向上に努める。 ②提出件数も増加させる ③事故を防ぐ為、ヒヤリハットの分析を通して事故を無くす ④万一、事故が発生した時、評価、モニタリングを行い再発防止を徹底する ⑤利用者へのリスク評価 100% (対象利用者) ⑥事故発生時評価及び再発防止モニタリングの 100%実施 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ヒヤリハットの用紙を簡素化する(5月に変更済) ②ヒヤリハットを一日一人一件以上提出(各棟 100 件/月) ③-1 出勤時にヒヤリハットシートを確認する。評価を行い対策協議する。 ③-2 月末に件数を安全対策委員会にて集計、分析しユニット会議にてリスク評価を行い対策協議する。 ④-1 事故発生時、適切な対応と再発防止策を即座に作成する ④-2 再発防止の為、モニタリングし対策を講じる ④-3 安全対策にてマニュアルに沿って研修会を実施する 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ヒヤリハットの記入用紙を簡素化した事で件数が増加した。 ②一日一人一件以上の提出は出来なかった ③ヒヤリハットについては毎日の引継ぎ時に毎回チェックし押印出来ている。更にユニット会議時にも再度、内容を把握、モニタリングを行い、傾向と対策を確認する事が出来た。 ④重要案件については再度、各棟の全職員で再度検証等を行い、統一した対応を行うように実施できた。 ⑤事故発生時は出勤職員にて再発防止に伴う話し合い即座に行い、統一した対応を行うように努めた。
-----------	--	--

権利擁護・虐待防止の推進	<p>【目標】</p> <p>1.不適切ケアについて全体会議、ユニット会議で意見を交換し不適切ケア0件を目指す</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①-1 半期に一度、虐待の芽チェックリスト(9月、1月)にて全職員取り組む ①-2 利用者の声を一人一日一件以上提出 ①-3 每月、集計し、ユニット会議にて全ての「利用者の声」への対応を協議する ①-4 認知症(2回)、虐待(2回)年間研修計画として計画する(4月中済) ①-5 運営推進会議にて「利用者の声」についての報告する 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①虐待の芽チェックが定期的には出来なかつたので、今後は全体会時に予定を組み実施して虐待についての意識を高めていきたい ・利用者の声の提出は件数が伸びなかつた。苦情になる前の対応、対策なので利用者のさり気なく出た、声も拾い挙げながら件数増加に努めたい ・不適切ケアについては1件発生しており、発生後、検証、再発防止の徹底の協議を直ちに行つた。今後も該当例がないか引き継ぎ時、ユニット会議時を利用し発生防止を徹底していきたい ・年間計画として認知症、虐待についての研修会実施出来た ・運営推進会議にて利用者の声についての報告実施出来ている。又、その際に委員の皆様より貴重なご意見頂き反映させている
感染症対策	<p>【目標】</p> <p>①季節性の感染症等を防ぎ、対応出来るようになる。又、新型コロナウイルス感染症発生防止に努める。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画として食中毒(6月)ノロ、インフル(11月)研修会実施していく ・隨時 BCP の更新(法人と連携) ・新型コロナ対応、対策訓練を各棟にて訓練(毎月)を実施していく ・感染症 BCP について隨時、更新する 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間計画通り食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症の研修会は看護師が講師となり実施出来た ・新型コロナウイルス対応、対策訓練は定期的に実施出来た。引き続き全職員が統一した対応が出来るように様々な場面を想定し訓練実施していきたい ・感染症 BCP の更新は法人と連携し必要時に更新し全職員へ周知出来た

地域と連携した災害対策体制の構築	<p>【目標】</p> <p>①有事の際に全員が統一した対応を実施出来るようになる又、近隣の方との連携を図り、利用者の安全を確保していく</p> <p>【計画】</p> <p>①-1 近隣の方の協力を得る為に、協力体制を整える(9月中)</p> <p>①-2BCP の内容、更新(4、12月)</p> <p>①-3BCP を活用した訓練を実施する(9月)</p> <p>①-4 運営推進会議にて消防署と地元消防団との避難訓練実施(年1回)</p> <p>①-5 合同避難訓練(佐世保東消防署、地元消防団) (9月に実施)</p> <p>①-6(避難訓練、通報訓練、奇数月)(発電機使用訓練、偶数月)を2ヵ月1回実施する</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>①近隣住民の方、入れ替わりもあり有事の際の協力依頼は出来た。しかし具体的な協力の在り方を示しておらず、今後、どの様に協力して頂くのかの具体策を検討していきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常災害時 BCP 更新は定期的に実施出来た。 ・特養と連携した BCP を用いた災害訓練実施(風水害にて停電発生等)は出来なかった。全職員が有事の際、混乱なく事業継続が出来るように全体会にてBCPの変更部分、周知確認出来た。今後も定期的に確認、周知していきたい ・地元消防団や消防署との合同訓練は新型コロナウイルス感染対策として実施しなかったが、避難訓練時の写真をフローチャート作成し確認して頂き、アドバイスも頂いた。 ・避難訓練、通報訓練、発電機使用訓練実施出来了た。
	<p>【目標】</p> <p>①人材育成として法人と連携し、スキルアップに努めたい</p> <p>②個人研修計画に基づいて遂行していく</p> <p>【計画】</p> <p>①年間研修計画(個別研修、法人全体も含む)を作成し、各月の全体会時に各テーマごとに実施していく</p> <p>②-1e-ラーニング研修の遂行</p> <p>②-2 個人の能力開発の目標を設定し取り組む</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>①年間研修計画として個人研修も含み実施出来た</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング研修は各職員、余裕がある時間帯を利用し視聴し実施出来た

地域との交流・貢献	<p>【目標】</p> <p>①コロナ禍においても地域と繋がる様に瀬川保育園とビデオレターのやり取りを行い、利用者方に楽しんで頂く</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬川保育園と協議し、コロナ禍の中でも交流の在り方を検討し実施する(9月) ・ビデオレターORリモートでの交流会を行い、利用者へ楽しんで頂く ・G-BAR-bag 作成し、毎月近隣店舗(木場、パオ、よかところ)に配布し使用して頂く 	<p>【取り組み状況】</p> <p>①瀬川保育園とのリモートによる交流会は実施出来なかった。少しでも交流できるように、連絡を取り、どの様な形で行うのか、時期などを決め、実施していきたい</p> <p>・G-BAR-bag の作成行ったが、近隣店舗への配布までは至らなかつた。近場であり連絡を取り少量でも良いのでまずは使って頂きたい。</p>
	<p>【目標】</p> <p>①定期的な、洗車・施設設備、備品のチェックを行い、確実な管理が出来る</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①-1 洗車は2ヶ月に1度実施する。(4月から) ①-2 備品の在庫や洗車の実施状況のチェック表を作成(4月末) ①-3 施設設備、備品は月末に安全管理担当スタッフがチェックし、必要な物品があればその都度、稟議をあげる(毎月末) 	<p>【取り組み状況】</p> <p>①施設設備や備品チェックについては実施出来ているが、洗車については定期的に実施する事が出来なかつた。今後洗車点検表を作成し、担当者が月に1度チェックを行い、管理者へ報告するよう努めたい。</p>

5. 入所者状況（令和4年3月31日現在）

入居人数	17名	(男性／2名)	女性／15名)
要介護区分 (平均介護度：1.9)			
要支援2 (0名)	要介護1 (6名)	要介護2 (8名)	
要介護3 (3名)	要介護4 (0名)	要介護5 (0名)	
年 齢	平均	89.5歳	(最低／77歳) (最高／100歳)

6. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回(うち書面開催3回)の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1名	西海市職員	1名
	地域住民の代表	3名		
	西海市社協職員	1名		
施 設	理事長・統括施設長・管理者			4人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月11日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度目標計画 ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動状況 ・ 意見交換（書面にて）
第2回	7月13日	第2グループホーム ふるさと	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染防 止訓練（ゾーニング・ガウ ンテクニック） ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換
第3回	9月16日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援介護について ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換（文書による）
第4回	11月30日	第2グループホーム ふるさと	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議で話し合う項 目についての協議（外部評 価について） ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換
第5回	3月9日	特別養護老 人ホーム ふるさと	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部評価について ・ 身体拘束等適正化委員会 ・ 利用状況と活動報告 ・ 意見交換

第6回	3月30日	文書による 書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価結果報告・令和4年度目標達成計画について ・身体拘束等適正化委員会 ・利用状況と活動報告 ・意見交換（文書による）
-----	-------	---------------	-----	---

7. 主な活動状況

年間を通した活動・行事				
<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会（各ユニットにて開催） ・避難訓練（2か月に1回） ・夜間出動訓練（年に2回） 				<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策訓練（毎月1回） ・自家発電動作訓練（2か月に1回）
主な月別行事				
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・G-BAR・BAG作り ・大島ドライブ ・茶話会 ・家庭菜園 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・料理レク ・赤い羽根共同募金 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・母の日茶話会 ・こどもの日茶話会 ・ちまき作り ・家庭菜園 ・焼きそばパーティー 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつり ・料理レク 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・父の日茶話会 ・梅干作り ・おやつパーティー ・梅干し漬け ・饅頭づくり ・紫陽花ドライブ 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスコンサート(リモート) ・ケーキ作り ・クリスマス会 ・干し柿作り 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・スイカ割り ・バラ風呂 ・七夕茶話会 ・かき氷作り 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年祝賀会 ・かがみ開き 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・紙相撲レク ・リモートコンサート ・おやつパーティー ・家庭菜園 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分・茶話会 ・料理レク ・園芸レク ・バレンタインデー 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと敬老演芸会(リモート) ・プレ敬老会（リモート） ・おやつパーティー ・お月見 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り茶話会 ・ホワイトデー ・花見 ・ドライブ 	

8. 会議・研修会開催状況

(1) 職員全体会議

11回

令和3年度	研修内容
4月	24H シートについて
5月	感染症について（食中毒予防と蔓延防止）
6月	災害(地震、風水害、BCP 更新検討会含む)
7月	身体拘束①、離設
8月	リスクマネジメント（危険・事故・ヒヤリハット）
9月	認知症①、高齢者虐待①
10月	緊急対応（誤嚥、窒息）
11月	感染症(0-157、ノロ、インフルエンザの予防と蔓延防止)
12月	介護技術（移乗、オムツ交換）
1月	認知症②
3月	身体拘束②、高齢者虐待②

(2) ユニット会議

11回

(3) 火災訓練(避難訓練)

5回

(4) 防災訓練(非常用自家発電機動作訓練)

4回

(5) 感染対策訓練（ガウンテクニック・ゾーニング訓練）

11回

9. 研修参加状況

【法人内研修】

- ・事業所連絡会議 12回
- ・口腔ケア委員会 12回
- ・自立支援トレーニング研修 11回

10. 外部評価

全職員、自己評価実施し、職員の一年間の活動状況や反省点を再認識する。

本年度より法改定による外部評価は運営推進会議を活用した評価が出来るようになり、当会議にて外部評価を行いました。運営推進委員の皆様からほとんどの項目において良い評価を受ける事が出来ました。

評価する際に必要な情報を更に分かり易く提供しなければと感じました。受講後、結果内容(反省点やアドバイス含)全職員へ周知。又、外部評価結果報告及び、目標達成計画を立案し次年度に向けた取り組みを3月24日、西海市へ提出し受理して頂きました。

https://furusato-saikai.jp/group02_b.html (ホームページにて閲覧可)

<https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/> (ワムネットにて閲覧可)

令和3年度事業報告「ふるさとシニアライフサポートセンター」

1. 事業概況

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、在宅生活を包括的に支える「小規模多機能型居宅介護事業所」を併設し、日常生活上のサービスを必要に応じて受ける事ができる「サービス付き高齢者向け住宅」では、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対して感染予防を徹底するために、職員を対象に何度も研修会や訓練を開催し、関連情報の取得に努め、事業所での新しい生活様式への取組、感染防止対策を図りながら事業を行ってきた。

また、外出や面会が制限される中、ホームページやインスタグラムで事業所の魅力づくりや活動内容を積極的に発信した。

利用状況は小規模多機能型居宅介護が新規契約者4名、終了者が5名。サービス付きマンションが新規契約者4名、終了者7名。稼働率平均は、小規模多機能型居宅介護89.5%、サービス付きマンション89.9%となり、昨年度より稼働率は下回っている。

小規模多機能型居宅介護事業者に義務付けられている「運営推進会議」は6回実施し(新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から6回中4回は書面会議にて開催)、活動状況、事例紹介、研修実施報告等の意見交換を行った。

年に1回、事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を行う「サービス評価」を昨年同様実施し、西海市に受理された。

2. 利用状況

【小規模多機能型居宅介護】

	本年度	前年度
契約者（延べ）	20人	21人
契約終了者	5名	5人

【サービス付き付きシニアマンション】

	本年度	前年度
契約者（延べ）	22人	21人
契約終了者	7人	3人

3. 利用者状況（令和4年3月31日現在）

【小規模多機能型居宅介護】

利用者数	15名	(男性／2名)	女性／13)
要介護区分	(平均介護度：1.5)		
要支援2(1名)	要介護1(9名)	要介護2(3名)	要介護3(3名)

年 齢 平均 90.7 歳 (最低／86 歳) (最高／97 歳)

【サービス付きシニアマンション】

入居者数	15 名 (男性／2 名 女性／15)
要介護区分 (平均介護度 : 1.5)	
要支援 2 (1 名) 要介護 1 (9 名) 要介護 2 (3 名) 要介護 3 (3 名)	
年 齢 平均 90.7 歳 (最低／86 歳) (最高／97 歳)	

4. 分野別重点計画振り返り

	令和 3 年度 ; 目標と目標達成計画	R3 年度 ; 取り組み状況と課題
自立支援型介護実現と利用者満足度向上	<p>【目標】 利用者満足度 120% アップ</p> <p>【達成計画】</p> <p>①ご利用者へのアセスメント（＝満足度調査）を 2 ヶ月に 1 回実施。⇒4 月中に書式を作成。</p> <p>②ご家族や主治医へのアセスメントをモニタリング期間に 1 回実施。その結果を踏まえて担当者のモニタリング結果を介護支援専門員がとりまとめる。</p> <p>③①②それぞれの評価を担当者会議時に実施しケアプランに反映する。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>ご長寿チェックにてご利用者の自己評価を 2 ヶ月に 1 回実施。過去のデータと比較しながら個別面談を実施し、自立支援へ向けたアドバイスやモチベーションの向上に努めた。その結果の情報を全職員で共有し、モニタリングや担当者会議時に評価結果をケアプランに反映することができた。</p> <p>ご利用者からも自己評価する事で振り返りが出来たり、面談時に相談できるので嬉しいとの声も聞かれた。</p>
リスクマネジメント	<p>【目標】 事故 20% 低減</p> <p>【達成計画】</p> <p>事故防止委員会の中で担当者・管理者を中心にヒヤリハット・事故報告書を、しっかりと評価し再発防止・情報共有に努めていく。</p> <p>①2 ヶ月に 1 回、個別リスク評価を実施し、事故防止委員会の中で情報を共有。</p> <p>②介護支援専門員は、リスク評価の高いご利用者・ご家族へ評価結果を説明し、必要事項をケアプランへ反映</p> <p>③リスク評価に基づいたケアプランの支援内容を全職員で確実に実施。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>2 ヶ月に 1 回、個別リスク評価を実施し、事故・ヒヤリハット報告に基づいた分析結果を事故防止委員会の中で確認し、ケアプランの支援内容を変更し全職員でプラン内容を共有できた。</p> <p>担当者・管理者を中心にヒヤリハット・事故報告書を、しっかりと評価し再発防止・情報共有に努めることができた。</p> <p>担当者は利用者別、時間別、発生場所等細かに分析し、グラフ化したり分かりやすく資料をまとめ再発防止に向けた検証に有効に活用できた。</p>

権利擁護・虐待防止の推進	<p>【目標】 不適切ケア、身体拘束 0%達成</p> <p>【達成計画】</p> <p>①不適切な言葉かけや支援に遭遇した職員は、出来る限りその場で注意する。直接伝える事が難しい場合は、管理者・リーダー・介護支援専門員に報告する。</p> <p>②毎月 1 回身体拘束等適正化委員会を開催し、不適切ケアの報告内容確認と協議。議事録は 3 日以内に作成し、委員会に参加していない職員は議事録に目を通しサインする。</p> <p>③法人内研修と事業所内研修を受講する。受講できなかった職員は、資料を必ず確認し、不明な点は管理者へ確認する。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>毎月 1 回身体拘束等適正化委員会を開催し、不適切ケアの報告内容確認と協議してきた。委員会に参加していない職員は議事録に目を通し確認するよう徹底した。オンライン研修と事業所内研修を受講し、権利擁護や虐待防止の推進に関する知識やスキル向上に努めた。</p>
感染症対策	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営基準順守した感染症対策の取組 ・新たな感染症対策の情報収集と情報共有の徹底 <p>【達成計画】</p> <p>①法人本部・行政からの新たな感染対策に対する情報データ（文書・動画）の確認⇒チェック表を作成し確認</p> <p>②重要事項は管理者がミーティング・カンファレンス時に報告し、参加していない職員は議事録にて内容を確認する。</p> <p>③法人内研修と事業所内の感染対策研修を受講する。受講できなかった職員は、資料を必ず確認し、不明な点は管理者へ確認する。</p> <p>④感染対策訓練を月に 1 回実施し、その後訓練結果の評価をカンファレンスにてしっかりとおこなう。</p>	<p>【取り組み状況】</p> <p>感染対策訓練を毎月 1 回実施し、その後訓練結果をカンファレンスにて評価し、来月の訓練計画を立案できた。</p> <p>新たな情報や研修については全職員が参加・確認できるようにチェック表を作成し情報の共有に努めてきた。</p> <p>【課題】</p> <p>情報の共有はできていたが、感染状況に応じた対応や自身が感染した場合の対応等全職員が完璧に理解できているとは限らないので、反復して情報の理解・共有に努めていきたい。</p>

地域と連携した災害対策体制の構築	<p>【目標】 運営基準順守した非常災害対策の検討とBCPの上書き</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①担当者は法人内での防災会議・研修に必ず参加し、BCPの変更があった場合は3日以内に変更し、変更箇所を職員に伝える。 ②防災訓練は月に1回実施し、反復してBCPの確認を計画的に実施していく。 ③法人内で地域との連携のありかたを協議し、状況に応じて研修や訓練・会議を開催していく。 	<p>【取り組み状況】 コロナ禍で地域と連携した訓練は実施できていないが、災害対策訓練を毎月1回実施し、その後訓練結果を振り返りカンファレンスにて情報共有できた。非常電源や機器の取り扱いについても反復して指導・訓練することができた。 また、新たな給食に関するフローチャートの作成や訓練やマニュアルの見直を実施 came out.</p>
地域との交流・貢献	<p>【目標】 コロナ禍における運営推進会議及び地域貢献の取組 運営推進会議をはじめ地域で開催される会議や交流において、新たな取り組みや地域貢献を検討していく</p> <p>【達成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①運営推進会議が書面開催となる場合には、わかりやすい資料やQRコードの掲載等を検討。⇒HPの活用や動画の配信も ②法人本部と協働して、地域住民・事業者向けの「介護教室」「知恵袋」の配信⇒10月までに ③①②の達成状況を10月に評価し、今後の方向性を検討する。 	<p>【取り組み状況】 コロナ禍で地域との交流は殆どできず、運営推進会議においても書面審議となる事が多かったが、書面審議での会議を重ねるごとに、いかに書面で伝えやすく出来るか管理者を中心に協議してきた。</p>

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1名	西海市職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市社協	1名
事業所	理事長 サポートセンター長 小規模多機能ホーム管理者 介護支援専門員	5名		

○実施状況

回	月日	場所	参加数	主な協議テーマ
第1回	5月 12日	書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度研修実績報告、 ・令和3年度研修計画について ・運営状況報告 ・書面会議の意見、情報提供
第2回	7月 14日	本センター	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会 ・運営状況報告 ・意見交換
第3回	9月 17日	書面開催	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援の取組について ・ご長寿チェック表（ご利用者自己評価）実施状況報告 ・運営状況報告 ・書面会議の意見、情報提供
第4回	11月 17日	本センター	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者シケート結果報告 ・運営状況報告 ・サービス評価について ・意見交換
第5回	令和3年 1月 14日	書面開催	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価について ・運営状況報告 ・書面会議の意見、情報提供
第6回	3月 17日	書面開催	10	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価結果報告 ・運営状況報告 ・書面会議の意見、情報提供

6. 主な活動状況

年間を通した活動・行事
<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会（誕生日）
主な月別行事（上記月例行事を除く）

4 月	・花見ドライブ（伊佐の浦公園/西海橋） ・お花見弁当 ・花咲カード表彰式 ・全体レクリエーション ・茶話会 ・懇談会 ・脳トレーニング	10 月	・ゲーム大会 ・脳トレーニング ・全体レクリエーション
5 月	・茶話会 ・おやつ作り（ちまき） ・収穫祭（じゃがいも、梅） ・全体レクリエーション ・脳トレーニング	11 月	・もみじ祭り ・ドライブ（大島・西海橋） ・全体レクリエーション ・脳トレーニング
6 月	・さつまいも植え ・茶話会 ・脳トレーニング ・あじさいドライブ	12 月	・クリスマスコンサート（リモート） ・餅つき ・干し柿作り ・クリスマビンゴ大会 ・脳トレーニング
7 月	・スイカ重量当て大会 ・七夕アイスクリーム会 ・全体レクリエーション ・脳トレーニング	1 月	・新年祝賀会 ・鬼火焚き ・鏡開き（せんざい） ・新春ビンゴ大会 ・全レクリエーション
8 月	・リモートコンサート ・おやつ作り（ばた餅・饅頭） ・全体レクリエーション ・脳トレーニング	2 月	・節分豆まき ・雛段飾り ・全体レクリエーション
9 月	・敬老会 ・茶話会 ・全体レクリエーション ・脳トレーニング	3 月	・ひな祭り茶話会 ・お花見ビンゴ大会 ・お花見ドライブ（西海橋/伊佐の浦） ・脳トレーニング

7. 会議・委員会開催状況

- ①職員全体会議 (12回)
- ②給食委員会 (12回)
- ③防災委員会 (12回)
- ④美化・環境委員会 (12回)
- ⑤事故防止委員会 (12回)
- ⑥医療・虐待検討委員会 (12回)
- ⑦防災訓練 (12回)
- ⑧事業所連絡会議 (12回)

8. 事業所内研修・訓練参加状況

実施月	内容	参加数
-----	----	-----

4月	・介護保険制度について	13
	・避難訓練	6
	・災害想定食訓練	5
	・感染症対策訓練：ゾーニング	3
5月	・高齢者施設における接遇マナー	13
	・感染症対策訓練：防護具着脱	4
	・避難訓練	6
6月	・新任職員研修	1
	・災害対策訓練：夜間避難及び災害機器取り扱い	6
7月	・介護職場のハラスメント	14
	・新任職員研修	1
	・感染症対策訓練：ガウンテクニック	6
8月	・認知症ケアと介護の基本	14
	・新型コロナ感染症 BCP マニュアル確認	7
	・災害時 BCP マニュアル確認	7
	・介護施設で発生する感染症と食中毒	14
	・避難訓練	5
	・感染症対策訓練：感染対策物資	2
9月	・身体拘束とは	13
	・感染症対策訓練：ゾーニング	4
10月	・サービス評価について	8
	・リスク評価	8
	・感染症対策訓練：ガウンテクニック	4
	・避難訓練	6
11月	・サービス評価について	13
	・感染症対策訓練：ガウンテクニック	4
	・避難訓練、消火訓練	6
12月	・サービス評価について	13
	・感染症対策訓練：ガウンテクニック	4
	・避難訓練	5
1月	・避難訓練	6
	・感染症対策訓練：ゾーニング	5
2月	・避難訓練	6
3月	・避難訓練：夜間想定	6

9. 令和 3 度サービス評価

小規模多機能型居宅介護事業所において、年 1 回、事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、その評価結果について、地域の有識者の皆さんのが構成員である運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を実施しています。

・サービス評価結果

令和 3 年 2 月 8 日西海市長寿介護課受理にて確定。

小規模多機能ホームふるさとのホームページにて閲覧可
(<http://furusato-saikai.jp/syokibo.html>)

以上

事業報告の付属明細書

社会福祉法第59条第1号に基づき報告する令和3年度事業報告の付属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成しておりません。

令和4年3月31日

社会福祉法人 ふるさと
理 事 長 北島 淳朗